

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

J1050 U.S. PTO
09/1987 886
11/16/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2001年 5月28日

出願番号

Application Number:

特願2001-158132

出願人

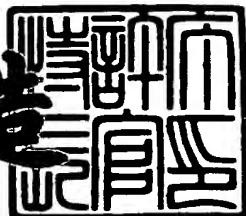
Applicant(s):

富士通株式会社

2001年 6月11日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3054473

【書類名】 特許願

【整理番号】 0095422

【提出日】 平成13年 5月28日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明の名称】 ネットワーク上での情報提供要求方法および装置

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
株式会社内

【氏名】 松井 一樹

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
株式会社内

【氏名】 神田 陽治

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
株式会社内

【氏名】 岩山 登

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
株式会社内

【氏名】 西山 聰一

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
株式会社内

【氏名】 奥村 仁

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100109852

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩田 茂

【電話番号】 044-754-3035

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000-351769

【出願日】 平成12年11月17日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011280

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0018466

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワーク上での情報提供要求方法および装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】

利用者端末に情報提供元を代表する表象を表示すると共に、情報提供を依頼することを宣言するための所定の領域を表示し、利用者が前記表象の少なくとも1つを選択して所定の領域に移動させたことを検知して、当該表象に対応づけられている情報配信元に情報提供の依頼を行うことを特徴とするネットワーク上での情報提供要求方法。

【請求項2】

ネットワークを介して、利用者の申請により所望の情報を定期的あるいは随時送出する情報提供システムにおいて、

情報の提供元となる情報提供元を代表する表象を利用者端末に表示する情報提供者表示手段と、

情報の提供依頼を受け付ける情報提供依頼領域を利用者端末に表示する情報提供依頼領域表示手段と、

利用者が、情報提供元を表す表象の1つないしは複数を選択し、情報提供依頼領域に移動したことを検知する検知手段と、

検知手段にて検知された表象を識別して、当該表象に対応付けられた情報提供元に対して、情報提供を要求するデータを生成して送出する、情報提供要求手段と、

情報提供要求元から配信されてきた情報を表示する情報表示手段とを備えることを特徴とする情報提供システム。

【請求項3】

ネットワークを介して、利用者からの情報配信要求を受け付けて、当該利用者の所望する情報を当該ユーザに配信する情報提供システムに用いられる利用者端末装置であって、

ネットワークを介して情報の配信元を代表する表象を取得して利用者端末に表示する情報配信者表示手段と、

独立した所定の領域を表示する所定領域表示手段と、
利用者が表示された表象の1つあるいは複数の表象を選択し、前記所定の領域
に移動したことを検知する手段と、
検知された表象に対応づけられた情報配信元に対して、情報提供依頼を生成し
、サーバに送信する情報提供要求手段と、
情報提供元から送信されてきた情報を利用者端末に表示する情報表示手段と
を備えることを特徴とする情報提供システムのための端末装置。

【請求項4】

前記情報提供者表示手段は、利用者の操作に応じて、表象の表示位置を変更可能な手段を備え、利用者毎に当該表象の表示位置を管理する手段を備えており、

前記情報提供要求手段は、情報提供要求データに、選択の対象となった表象の表示位置を含めて情報提供元に送出し、

前記情報表示手段は情報提供元から当該表象の表示位置に応じて調整された情報を受信して表示することを特徴とする請求項3に記載の情報提供システムのための端末装置。

【請求項5】

ネットワークを介して、利用者からの情報配信要求を受け付けて、当該利用者の所望する情報を当該ユーザに配信する情報配信システムに用いられるサーバ装置であって、

ネットワークを介して、予め情報の配信元毎に対応づけて記憶してある表象を利用者端末に送出する手段と、

利用者端末での表象の選択に応じて送出されてきた情報配信要求に基づいて、当該表象毎に情報の配信先を管理しているデータベースを更新する配信予約管理手段と、

情報の配信先を管理しているデータベースの内容に基づいて、利用者の所望している情報を配信する情報配信手段と
を備えることを特徴とする情報配信システムに用いられるサーバ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークを介してユーザからのサービスの利用や情報提供の要求を受け付けて、当該ユーザに対して所望のサービスや情報を提供する各種サービス提供システムや情報配信システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、インターネット等の各種ネットワーク網の普及により、予め所望の情報およびその配信先を登録しておくことにより、情報提供元は提供すべき情報を所定の送信先へ随時／定期的に利用者に送信し、利用者は、常に知りたい情報を適宜受信して参照することが可能となっている。その一例として、利用者がニュース配信を希望する場合、次のような手順を踏むことになる。

【0003】

利用者は、まずニュース情報の提供を行っているホームページにアクセスする。そのホームページには、ニュース配信の申し込みを行うページが用意されており、利用者はその申し込み用のページを表示する。表示された申し込みに必要な記載事項（氏名や情報送信先のアドレス等）を入力して、申し込みボタンをクリックする、あるいは、所定の申し込み用のアドレスに対して送信する。ニュース配信元は、送信されてきた申し込みデータを受け取り、配信先のアドレス等を格納した配信管理データベースに登録し、ニュース情報の配信先を登録し、以後利用者に対してニュースの配信を開始する。

【0004】

オンラインショッピング等においても、同様に利用希望者が会員情報登録画面やアンケート画面などに所定の情報を入力して送信することで、配信先会員として登録される。配信先に登録された後、定期的にあるいは随時に、ニュース情報や広告情報が利用者に配信される。

【0005】

また、航空機の予約を行う場合にも、その都度利用者がそれぞれの航空会社の予約サービスにアクセスして、必要事項の入力を行って、空き状況の確認や予約申し込みなどを行っている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

このように、従来であれば、情報の配信元毎に利用者が配信元の要求する申し込み内容を入力していた。利用者は、情報を取得したい配信元が増えれば増える程、何度も同じ内容の入力を強いられていた。さらには、申し込み時に必要な内容や、その内容を入力するために用意されたレイアウトなどは、配信元毎に異なっており、利用者はその都度申し込み方法を理解して、申し込みまねばならなかつた。

【0007】

また、サービス提供を受けたい場合においても、利用者が希望のサービスの提供者に接続して、その都度煩雑な申し込みを行わなければならなかつた。

【0008】

さらに、利用者に対して煩雑な申し込み手続きを繰り返し強要するにも関わらず、申し込み手続き時に利用者に入力させる項目だけでは、利用者が当該サービスや情報に対して、どの程度興味を持っているのかを把握することは困難であり、利用者の興味レベルに応じてサービスや情報の提供を行うことが困難となつてゐる。しかし、申し込み手続き時に、利用者の興味レベルを把握するための情報と入力してもらうことは、煩雑な申し込み手続きをより煩雑にするだけであり、利用者が申し込み手続きを途中で放棄しかねる事態も予想される。

【0009】

本発明は、簡便なインターフェースによって、利用者がサービスの提供や情報配信の申し込みを簡単に行うことができることを目的とする。さらには、簡便なインターフェースによる申し込み手続きでありながら、利用者の当該サービスあるいは情報に対する興味のレベルを容易に把握できるようにして、利用者の興味のレベルに応じてサービスや情報の提供内容を調整できるようにすることを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

簡単に述べると、本発明は、上記のような目的を達成するため、利用者端末の

画面上にあらかじめ情報提供元の接続先情報を合体したユニークな表象（アイコン等）をネットワークを介して獲得表示し、同一画面上の予め定められたアクセス領域に選択した表象を移動させたことを契機として当該表象の持つ接続先に自動的に接続を完了し、情報提供を受けるに必要な手続情報が自動的に送出されるシステム構成を特徴とするものである。このような構成により、利用者は面倒な入力作業を行うことなく、希望の表象を取り込んで、その画面上での移動操作だけで、必要な手続きを完了することが可能となる。

【0011】

すなわち、本発明では、サービス提供元あるいは情報提供元を代表する表象を用意し、当該表象には予めサービス提供元あるいは情報提供元に接続可能な情報を対応づけて記憶しておく。利用者端末に当該表象を表示すると共に、利用者がサービスあるいは情報提供を要求することを宣言するための所定の領域を表示画面上に表示する。利用者が画面上に表示されたサービス提供元あるいは情報提供元を代表する表象を所定の領域に移動させると、所定の領域に表象が移動されたことを検知して、当該表象に対応づけられたサービス提供元あるいは情報提供元にサービスの提供あるいは情報の提供を要求する仕組みを提供する。これにより、利用者が、煩雑な入力を行うことなく、申し込みたいサービスや情報を代表する表象をマウスなどの指示入力装置で選択し移動操作するといった簡単な作業を行うだけで、サービス利用の申し込みや情報の配信要求を行うことが可能となる。

【0012】

さらに、本発明は、当該表象の表示位置等を認識し、その表示位置等から利用者が当該表象に対応するサービスや情報に対して、どの程度興味を持っているかを判定する仕組みを提供する。これにより、利用者が表象を所望の領域に位置づけるだけで、サービスや情報の提供を依頼できるだけでなく、そのサービスや情報に対する興味のレベルも判定でき、利用者の興味のレベルに応じたサービスあるいは情報の提供を要求することが可能となる。

【0013】

すなわち、本発明は、情報提供元あるいはサービス提供元を代表する表象を利

用者端末に表示し、さらに、利用者がサービスの利用あるいは情報の提供を申し込むことを宣言するための所定の領域を表示し、画面上に表示された表象を利用者が選択して所定の領域に移動させたことを検知して、当該表象に対応づけられているサービス提供元あるいは情報提供元に対してサービス提供あるいは情報提供の依頼を行うことを特徴とする。

【0014】

さらに、移動させた表象の表示位置に応じて、利用者の興味レベルを判定し、利用者の興味レベルに応じたサービスや情報の提供を依頼する機能を有することを特徴とする。

【0015】

また、利用者が選択した表象が複数存在する場合に、他の表象の情報も関連情報としてサービス利用あるいは情報提供を行う機能を有することにより、利用者の状況、興味の傾向に応じたサービスあるいは情報の提供を行うことを特徴とする。

【0016】

より具体的に述べると、本発明は、ネットワークを介して、利用者からの情報配信要求を受け付けて、当該利用者の所望する情報を当該ユーザに配信する情報提供システムにあって、ネットワークを介して情報の配信元を代表する表象を取得して利用者端末に表示する情報配信者表示手段と、独立した所定の領域を表示する所定領域表示手段と、利用者が表示された表象の1つあるいは複数の表象を選択し、前記所定の領域に移動したことを検知する手段と、検知された表象に対応づけられた情報配信元に対して、情報提供依頼を生成し、サーバに送信する情報提供要求手段と、情報提供元から送信されてきた情報を利用者端末に表示する情報表示手段とを備えることを特徴とする。

【0017】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明を前述した仮想社会空間サービスと組み合わせて実施する例を明する。

【0018】

図1は、本発明を利用した仮想社会空間サービス上で実現した広告配信システムの構成の例を示す図である。本構成では、仲介サーバ1と複数の利用者端末2がネットワーク3を介して接続されている。なお、図面上は利用者端末2は代表して1台のみ記載している。仲介サーバ1には、仮想社会空間を提供すると共に、仮想社会空間に参加している店舗や会社等が提供する情報も一元管理されている。仲介サーバ1には、仮想社会空間に参加している店舗や会社等が提供しているホームページの内容や、仮想社会空間で店舗や会社を表示するために用いられる表象などのアイコンデータが格納されているホームページコンテンツDB10、ホームページコンテンツDB10を管理しているアイコン管理部16、この仮想社会空間サービスを利用する利用者に関する情報を格納した会員情報DB18、広告する内容を格納しているコンテンツDB11、利用者からの配信要求を受付て登録しておく配信予約管理DB12、端末装置2とネットワーク3を介して通信を行うための通信処理部17、利用者端末2からの配信要求を受信して、通知されてきた内容に基づいて、配信先に関する情報を配信予約管理DB12に登録する配信予約管理部13、さらに配信予約管理部13は利用者の興味のランクに応じて配信量を調整する情報配信調整部15を含む、配信予約管理DB12とコンテンツDB11に基づいて情報の配信を行う情報配信部14を有している。

【0019】

利用者端末2は、入力装置からの入力信号を受ける入力処理部31、出力装置へ出力信号を送出する出力処理部32、入力処理部31で受け取った入力装置での操作内容を解析し、アイコンに対する操作を検知した場合に、アイコン位置検出部23にアイコン操作に関する情報を転送する要求解析部22、要求解析部22からアイコン操作に関する情報を受け取り、アイコンの操作に応じて、アイコン移動通知部24、配信予約要求部25、キャンセル要求部26に対して、当該アイコンに関する情報を通知するアイコン位置検出部23、配信されてきた広告情報を受信し、画面情報生成部21に広告情報の表示を指示するコンテンツ受信部27、利用者毎に管理された街並みを表示する画面情報生成部21、アイコン操作に応じてアイコンデータを一時的にアイコン保存DB29に保存するアイコン取得部28を有する。

【0020】

仮想社会空間サービスと連携した本発明の処理の流れを図2で説明する。

【0021】

仮想社会空間サービスは会員制になっており、会員情報DB18には、サービスを利用する際に必要なユーザID181をキーにして、利用者に関する情報が登録されている。会員情報DB18の内容の例を図5に示す。会員情報DB18は、ユーザID181、パスワード182、個人情報プロファイル183、街並み情報184等から構成される。ユーザID181は、仮想社会空間サービスにおいて利用者に識別するための識別番号であって、当該サービスから利用者毎に一意に付与されるものである。パスワード182は当該利用者が正当な利用者であることを確認するための暗証番号である。個人情報プロファイル183は、当該利用者の氏名、年齢、性別等の基本情報を格納しているファイル名が登録されている。なお、基本情報を独立したファイルとせず、会員情報DB18にそれぞれの項目を設けて情報を格納するようにしてもよい。街並み情報184は、仮想社会空間サービスにおいて、個人の好みに作成された街並みの情報を記憶している。街並み情報184は、マウス操作などにより利用者によって定義された街並みの状態に応じて、アイコン移動通知部24によって生成され、保存される。アイコン移動通知部24の機能については、アイコンの移動位置等をHTTP等の通常のプロトコルを使用して所定のタイミングで通知する処理を行うが、仮想社会空間サービス固有の機能であり、本発明の主たる機能ではないため、詳細な説明を割愛する。

【0022】

まず、利用者は、利用者端末2を使用して、ユーザIDとパスワードを入力して、仮想社会空間サービスにログインする(図2のステップ#101)。本実施例では、ユーザIDが"MC010149"の利用者がログインしたとする。仲介サーバ1は、利用者端末2から送られてきたユーザIDで会員情報DB18を検索し、利用者が入力したパスワードが会員情報DB18に登録されているパスワード182と一致するかを確認する。パスワードが一致しなければサービスの利用を許可しない。パスワードが一致すれば、サービスの利用を許可し、当該利用者の街並み情報184(図5の例では、mc10149.swfのファイルに格納されている内容)を利用者端末2に送出する。利用者端末2は通信処理部30を介して街並み情報184を受信す

ると、画面情報生成部21において、利用者の街並みをディスプレイ装置に表示する（図2のステップ#102）。本願出願人が提供している仮想社会空間サービス（My City）における表示画面を図6に示す。画面は仮想社会空間100と広告希望領域200の大きく2つに分かれて表示されている。本実施例では、仮想社会空間100の街の風景101や店舗102やレジャー施設103などは利用者の好みで選択および配置されている。各店舗102やレジャー施設103はアイコンで表現されている。仮想社会空間100でのアイコン102,103の表示位置は、そのアイコンの表す店舗やレジャー施設などに対して、利用者がどの程度興味を持っているかというレベルとリンクしており、手前に置かれると利用者の興味が高く、奥の方に置かれると利用者の興味が低いことを表している。これらの各店舗102やレジャー施設103のアイコンは、本請求項のサービス提供者、情報提供者および広告配信者を代表する表象に相当する。また、広告希望領域200は、本願請求項の所定の領域に相当する。

【0023】

ディスプレイ装置上に表示された仮想社会空間100に対して、利用者が入力装置を使用して何らかの操作を行ったかどうかを監視し、何らかの操作が行われたことを検知した場合（図2のステップ#103でYesの場合）ステップ#104に進み、そうでなければ（図2のステップ#103でNoの場合）、配信データの受信であるかを確認する（図2のステップ#112）。配信データの受信であれば（図2のステップ#112でYesの場合）、配信されてきた広告データをディスプレイ装置に表示する（図2のステップ#113）。配信データの受信でなければ（図2のステップ#112でNoの場合）、利用者のマウス操作やサーバから受信したデータの内容に応じた処理を行う（図2のステップ#114）。

【0024】

利用者が何らかの操作を行ったことを検知した場合（図2のステップ#103でYesの場合）、アイコン操作が行われたかどうかを確認する（図2のステップ#104）。アイコン操作でなければ（図2のステップ#104でNoの場合）、対応する他の処理を実行する（図2のステップ#109）。アイコン操作で

あれば、アイコンが所定の領域に移動されたかどうかを確認する（図2のステップ#105）。所定の領域に移動された場合（図2のステップ#105でYesの場合）、配信予約処理を行う（図2のステップ#107）。所定の領域への移動でなければ（図2のステップ#105でNoの場合）、所定の領域から別の領域に移動されたかどうかを確認する（図2のステップ#110）。アイコンが所定の領域から別の領域に移動された場合（図2のステップ#110でYesの場合）、キャンセル要求処理を行う（図2のステップ#111）。配信予約処理およびキャンセル要求処理の詳細は後述する。

【0025】

それぞれの処理を実行したのちは、利用者がサービスの終了の指示を行ったかどうかを確認する（図2のステップ#115）。終了の指示がなされていれば（図2のステップ#115でYesの場合）、サービスをログアウトし（図2のステップ#116）、終了が指示されなければ（図2のステップ#115でNoの場合）、ステップ#103に戻って、次の操作あるいは配信データの受信を待つ。

【0026】

仮想社会空間システムを利用した広告配信システムの大まかな流れは以下の通りである。

【0027】

図6の表示例に基づいて、具体的に説明する。

【0028】

図6の表示画面において、仮想社会空間100に配置されている店舗のアイコン102を広告配信希望領域200にドラッグ(drag)アンドドロップ(drop)したとする。前述した通り、利用者端末2の要求解析部22はマウスによってアイコンに対する操作がなされたことを検知して、アイコン位置検出部23にアイコン移動操作が行われたことを通知する。この際、ドラッグ時の座標とドロップ後の座標を送る。アイコン位置検出部23は、アイコンの移動前と移動後のアイコンの座標から、そのアイコンが仮想社会空間100から広告希望領域200にコピーされたことを判断すると、配信予約要求部25にアイコンデータと座標データを送出し、配信予約

を依頼する。

【0029】

配信予約の処理を図3に基づいて説明する。

【0030】

配信予約要求部25は、アイコンデータを受け取ると（図3【A】のステップ#201）、受信したアイコンデータに定義されている配信予約に必要な項目を会員情報DB18から取得する。アイコンデータの例を図7に示す。図7はアイコンデータがXML言語を使用して定義されている例である。アイコンデータは、アイコン定義部300、アイコン外観属性部301、商品関連情報部302、コンテンツサーバアドレス情報部303、配信予約情報部304から構成されている。アイコン定義部300は、アイコンの基本情報を定義している。図7の例では、このアイコンデータの識別子(ICON-ID)が"icon-v101-349-v1"であり、所有者(VENDER)が"FUJITSU"であり、有効期限(EXPIRED)が2002年1月1日であることが定義されている。アイコン外観属性部301は、ディスプレイに表示されるアイコン画像を定義している。図7の例では、画像の大きさが横200、縦100の大きさであることを示し、画像データとして"アイコン画像URL"を使用することが定義されている。商品関連情報部302は、アイコンの詳細情報が定義されている。図7の例は、アイコンが商品のアイコンである場合の例である。商品情報(PRODUCT)として、商品種別(TYPE)がCDであること、値段(PRICE)が3,000円であること、歌手(ARTIST)がホイットニー・ヒューストンであることが定義されている。この情報は、当該アイコンがディスプレイ上に表示されている場合に、そのアイコンにカーソルが近づくと吹き出し表示されたり、アイコンの表示と同時に近傍に表示されたりする。コンテンツサーバアドレス情報部303は、当該アイコンの広告配信元となるサーバを定義している。本実施例では、仮想社会空間サービスを提供するサーバと広告配信を行うサーバを兼用しているため、図7の例では、仲介サーバ1のURLが定義されている。配信予約情報部304は、配信予約の際に必要な情報を定義している。図7の例では、配信予約の際は、利用者のプロフィール情報である名前(NAME)とメールアドレス(EMAIL)が必要であることを定義している。

【0031】

配信予約要求部25は、アイコンデータの配信予約情報部304の内容から配信予約を行うには、利用者の名前とメールアドレスが必要なことを認識し、会員情報DB18から、当該利用者の氏名とメールアドレスを取得し、配信予約データを生成する（図3【A】のステップ#202）。生成した配信予約データの例を図8【A】に示す。REQUEST-TYPEの項目には、本データが配信予約であることが設定している。ICON-IDの項目には、利用者によって操作されたアイコンのアイコンデータからアイコンID "icon-v101-349-v1" を取得して設定している。NAMEとEMAILの項目には、ユーザIDをキーにして会員情報DB18を参照し、利用者の名前 "富士通太郎" とメールアドレス "taro01@xxx.xxx.jp" を取得して設定している。生成された配信予約データは、仲介サーバ1に送出される（図3【A】のステップ#203）。

【0032】

仲介サーバ1の配信予約管理部13は、配信予約データを受信すると（図3【B】のステップ#301）、配信予約データの内容に基づいて、配信予約管理DB12の内容を更新する（図3【B】のステップ#302）。配信予約管理DBの内容の例を図9に示す。本例では、アイコンID "icon-v101-349-v1" に、広告の配信先であるメールアドレス "taro01@xxx.xxx.jp" とユーザの名前 "富士通太郎" が登録されている。

【0033】

これにより、利用者は、画面上に表示されたアイコンを所定の領域に移動させるだけで、当該アイコンが対応付けられている広告発信元に対して、広告配信の予約を行うことが可能となる。

【0034】

次に、広告の配信処理について図10に基づいて説明する。仲介サーバ1の情報配信部14はコンテンツDB11を参照し、配信すべき情報があるかを確認する（図10のステップ#601）。コンテンツDB11の内容の例を図11に示す。コンテンツDB11は、コンテンツID、アイコンID、コンテンツURL、配信タイミングから構成される。コンテンツIDは、情報を一意に識別するための識別コードである。アイコンIDは、アイコンを識別するための識別番号である。

コンテンツURLは、配信すべき広告の内容が格納されているアドレス（URL）である。配信タイミングは、当該コンテンツを利用者に送信するタイミングを定義したものであり、コンテンツID"C20001005-01"は、コンテンツURLに格納された情報が更新されたことが検知されると配信することが定義され、コンテンツID"C20001005-02"は、6時間毎に情報を配信することが定義されている。ここで、コンテンツID"C20001005-01"が、配信すべき情報として検出されたとする（図10のステップ#601でYesの場合）。当該コンテンツに対応するアイコンID"icon-v101-349-v1"をキーに配信予約管理DB12を検索し、配信先を確認する（図10のステップ#602）。図9に示した配信予約管理DB12の例に基づくと、アイコンID"icon-v101-349-v1"には、3人が登録されており、配信先のメールアドレスとして、"taro01@xxx.xxx.jp"、"hanako@yyy.xxx.jp"、"akashi99@zzz.xxx.jp"を取得する。取得した配信先のアドレスと配信すべきデータ(c20001005-01.dat)とを、配信データに加工して送信する（図10のステップ#603）。

【0035】

利用者端末2は、コンテンツ受信部27で、配信されてきた広告を受信すると、画面情報生成部21に通知する。画面情報生成部21は、受信した広告を当該アイコンの近傍に表示するよう画像データを生成し、出力処理部32を介してディスプレイ装置に表示する。図6に示すように、アイコン102の近傍に広告データ104が表示される。

【0036】

一方、図6において、広告希望領域200に登録されていたアイコン105が削除された場合、配信予約のキャンセルを行う。このキャンセル要求処理を図4を用いて説明する。

【0037】

利用者が、アイコン105を広告希望領域200から削除したとする。アイコン位置検出部23は、要求解析部22からアイコンに対する操作がなされた通知を受け、当該アイコンが広告希望領域200、すなわち所定の領域から削除されたことを検知し、当該アイコンのデータをキャンセル処理部26に送出する。キャンセル要求

部26は、アイコンデータを受信すると（図4のステップ#701）、アイコンデータの配信予約登録情報部304を参照して、配信予約の必要に必要な項目を確認する。図7に例示したアイコンを削除したとする。配信予約情報として、利用者の名前とメールアドレスが必要なことを確認し、会員情報DB18から取得する。取得した情報とアイコンIDに基づいて、配信キャンセルデータを生成する（図4のステップ#702）。配信キャンセルデータは、図8[A]に例示した項目で構成される。配信キャンセルの場合、REQUEST-TYPEの項目には、"配信キャンセル"が設定される。その他の項目については、配信予約時と同じ内容が設定される。生成した配信キャンセルデータを仲介サーバ1に送信する（図4のステップ#703）。配信予約管理部13は、配信キャンセルデータを受信すると、アイコンIDと、名前、メールアドレスなどの配信予約情報とをキーにして、配信予約管理DB12を検索して、該当する配信予約を削除する。

【0038】

これにより、利用者は、所定の領域からアイコンを削除するあるいは移動するだけで広告配信を停止することが可能となる。

【0039】

次に、広告の配信を利用者の興味のランクに応じて調整できるようにした場合を説明する。

【0040】

利用者端末2で、アイコンに対する操作を検知して、配信予約要求を、仲介サーバ1に送出する処理の流れは、前述と同様である。ただし、送信する配信予約データの内容として、図8[B]に示すように、アイコンの座標位置の情報を追加する。この座標は、本実施例においては、図6の画面で表示される仮想社会空間100内の座標を指す。POSITIONの項目には、2種類の座標が設定される。AFTERの項目には、アイコンに対する操作が完了した後の座標が設定されている。BEFOREの項目には、アイコンに対する操作が行われる直前の座標が設定されている。

【0041】

仮想社会空間100に配置されているアイコンを102を広告希望領域200にドラ

ッグアンドドロップしたとする。この場合、AFTER の項目には、広告希望領域200 に配置されているアイコン106 の座標が設定され、BEFOREの項目には、仮想社会空間100 に配置されているアイコン102 の座標が設定される。

【0042】

仮想社会空間100 の前方に置かれたアイコンは、利用者の興味が強いものであり、遠くに置かれたアイコンは利用者の興味が薄いことを表していることを利用している。なお、仮想社会空間100 が利用者毎に異なる環境を設定できるものではなく、利用者に共通環境であった場合には、広告希望領域200 内でのアイコンの座標を利用するようにしてもよい。また、座標位置情報は、あくまでも利用者の興味のランクを判定するための情報であり、その表現形式は必ずしも座標に限らない。例えば、広告希望領域200 内に移動された複数のアイコンの相関関係を所定の関数で計算し、その結果を使用することや、利用者の操作の履歴を蓄積しておき、その傾向を分析した結果を使用することなどが考えられる。

【0043】

配信予約管理部13は、配信予約データを受信すると（図3【C】のステップ#401）、情報配信調整部15において、配信予約データの座標位置情報からアイコンの位置区分を判定する（図3【C】のステップ#402）。すなわち、利用者の興味のランクを判定する。本実施例では、アイコンの位置区分を図13に示すように、"NEAR"、"MIDDLE"、"FAR" の3区分に判定している。"NEAR"は、仮想社会空間100 において、当該アイコンが手前に配置されており、利用者の興味が非常に高いと判定される。"MIDDLE"は、仮想社会空間100 において、当該アイコンが中間に配置されており、利用者の興味が普通であると判定される。"FAR" は、仮想社会空間100 において、当該アイコンが遠くに配置されており、利用者の興味が低いと判定される。判定された興味のランクに関する情報と共に、配信予約管理DB12に登録する。この場合の配信予約管理DB12の内容の例を図12に示す。図9に示した項目に加え、アイコン位置の項目が追加されている。図8【B】に示した配信予約要求に基づいて、アイコンID"icon-v101-349-v1"のアイコン位置"NEAR"に、ユーザID"taro01@xxx.xxx.jp"、名前"富士通太郎"が登録されている。

【0044】

これに伴い、コンテンツDB11の内容も図13のように構成する。図11に例示されるコンテンツDBの項目に、アイコン位置の項目を追加し、同じアイコンであっても、アイコン位置に応じて、配信する広告の内容が異なるように設定されている。アイコンID"icon-v101-349-v1"では、アイコン位置が"NEAR"であれば、利用者の興味が高いので、現在行われているイベントとその実施期間や詳細情報を参照するためのリンク情報など広告の内容が一番豊富なものが配信されるようになっており、アイコン位置が"MIDDLE"であれば、利用者の興味が中程度であるため、現在行われているイベントとその実施期間についてのみ配信されるようになっており、アイコン位置が"FAIR"であれば、利用者の興味が薄いため、現在行われているイベントの情報のみが配信されるようになっている。情報配信部14は、情報の配信先を確認する際に（図10のステップ#601）、情報配信調整部15において、配信予約配信予約管理DB12の内容に基づいて、アイコンIDおよびアイコン位置とで、配信先をグループ化し、コンテンツDB11においてアイコンIDおよびアイコン位置に対応づけられた広告に内容をそれぞれに配信するように配信データを生成する。

【0045】

これにより、利用者の興味のランクに応じた広告の配信が可能となる。

【0046】

さらに、アイコンを所定の領域に移動させることによって、配信予約要求を行う際に、所定の領域内に複数のアイコンが存在している場合、それらのアイコンについても、図14に示すような追加データを配信予約データと共に送出するようにもよい。図14では、広告希望領域200に、既にアイコンが2個存在しており、そのアイコンのアイコンID"icon-1"と"icon-2"、それぞれのアイコンの座標位置が設定されている。また、広告希望領域200が、利用者の興味のランクや興味の分野や商品分類毎に領域を分割されているインターフェースの場合は、そのアイコン群がどの領域に存在しているかを、AREAINFOの項目に設定しておく。

【0047】

これにより、利用者の興味の傾向等が分析可能となり、その分析結果に応じて広告の内容を変更することが可能となる。

【0048】

例えば、図15に示すような、ショッピングカートシステムにおいて、特に有効である。ショッピングカートシステムでは、利用者はショッピングカートに購入を検討している商品を候補商品領域201に一時的に格納している。図15の例では、カメラを購入するにあたり、利用者がどれを購入するかを検討しているカメラが6台登録されている。候補商品領域201に、さらに別のカメラを登録したとする。追加されたカメラに関する情報だけがサーバに通知されると、カメラの取り扱い店は利用者がそのカメラのみに興味があるのか、他のカメラと比較しているのかといったことは認識できない。この場合、配信予約を行う際に、操作対象となったアイコンだけでなく、その周辺に存在しているアイコンに関する情報を合わせて通知することにより、広告配信元は、利用者の興味・需要を把握することが可能となり、他のメーカーのカメラを買うより自分のところのカメラを買った方が良いというメリットを強調する内容を盛り込んだ広告を配信するようになることができる。

【0049】

また、この場合、配信予約要求部25は、移動操作の対象となったアイコンについて配信予約を行うだけでなく、追加データとして送った周辺に存在するアイコンについても、同様に周辺に存在するアイコンに関する情報を添付した配信予約を送信するようにしてもよい。これにより、検討の対象に上がっている商品の販売元が公平に販売競争できるようになる。ひいては、利用者も、各商品の販売元から、他の候補商品より有利な点を強調した広告を受け取ること等が可能となり、最終的に購入する商品の選択を行う判断材料を適宜に受け取り、利用者のニーズにあった判断が下せるようになる。

【0050】

さらに、周辺情報としては、候補商品領域201に登録されている他の商品だけでなく、購入予定店舗領域202に登録されている店舗や、要望欄203に設定されている商品の用途や、金額欄204に設定されている顧客の予算額も対象としても

よい。これにより、店舗側は、競合関係にある店舗が認識でき、ライバル店舗を考慮した広告が可能となり、また、顧客の予算や商品の用途を知ることにより顧客の用途に即した宣伝内容や、予算に応じた値引き金額の提示が行えるようになり、顧客のニーズに対してよりきめ細やかなサービスの提供が行えるようになる。

【0051】

なお、広告許可領域200は、仮想社会空間100の同様の形態で表示してもよい。その場合、仮想社会空間100でのアイコン位置と利用者の興味レベルがリンクしていたように、広告許可領域内200でのアイコンの位置と利用者の興味レベルがリンクするようにしておく。さらに、アイコンの置かれた位置に応じて、アイコンの表示形態を変えるようにしてもよい。例えば、手前に置かれたアイコンはアイコンの大きさを大きくして表示し、利用者の関心が高いことをより明確に表現し反対に奥の方に置かれたアイコンはアイコンの大きさを小さくして表示し、利用者の関心が薄いことをより明確に表現する。表示形態は、その他にも色の濃淡を付ける、輝度の差を付けるなど、その差異が判別可能な形態であればよい。

【0052】

また、仮想社会空間100の領域は、上述した特定のサービスに接続した画面ではなく、一般的にアクセス可能なホームページ（ウェブページ）を表示するようにしてもよい。このホームページ上に表示されているアイコンが本発明の機能を備えていればよく、アイコンの表示されている形態は、本実施例に特定されるものではない。ホームページ上に表示されたアイコンを広告希望領域200に移動させると、本発明の情報提供要求処理が行われる。この場合、広告希望領域200に、前述したようにアイコン位置と利用者の興味レベルがリンクする機能を有していると、利用者の興味に応じた情報の提供の要求を行うことが可能となる。

【0053】

また、情報の提供要求に応じて配信されてきた情報を受信して利用者の端末に表示する場合、本例では該当するアイコンの近傍に表示する例を示しているが、電子メールで受信した場合、メールソフトを使用して表示するようにしてもよいし、専用の表示領域を設けて、受信した情報を表示するようにしてもよい。

【0054】

次に、配信する情報に、さらに本願発明の機能を有したアイコンを含ませる例を説明する。

【0055】

図26 (a) および図26 (b) は、広告許可領域200 のみを記載している。この広告許可領域200 内でのアイコンの位置とユーザの興味レベルが関連している。アイコンが、ユーザから見て手前に位置する広告許可領域200 の下段200nに置かれた場合、ユーザのアイコンに対する興味が高いものとし、広告許可領域200 の中段200m、上段200fとユーザのアイコンに対する興味が低くなっていくものとする。

【0056】

また、コンテンツDB11の内容の例を図27に示す。図27には、ビデオデッキAのアイコン107 (アイコンID: icon-vd01-100-v1) に対して、アイコンの位置に応じて3種類の情報が登録されている。特に、ユーザが当該アイコンに対して非常に興味を持っていることを示すアイコン位置"NEAR"に対応付けられているコンテンツ"file://c/V20001005-01-01.dat"の内容として、付属品のアイコン108 が付属品の広告情報と共に定義されている。図27において、イメージを明確にするために、コンテンツの内容にアイコンの絵を直接記載しているが、実際には、アイコンを参照するキーワードと参照先のアイコンIDとを記載するなど、コンテンツの内容を記述する際の規約に準じた記載がなされている。

【0057】

図26 (a) の例では、当初、ユーザがビデオデッキAのアイコン107 を広告許可領域200 の上段200fに登録している。広告許可領域200 の上段200fに置かれた場合、前述の処理と同様に、当該アイコンが広告許可領域200 に移動されたことを検知して、広告許可領域200 内のアイコンの位置情報を含めて、当該アイコンに対する情報の配信予約を行い、登録された配信予約情報に基づいて、アイコン位置に応じた広告をコンテンツDB11 (図27) から抽出して、ユーザの端末に配信し、当該アイコンに対する広告が表示される。図26 (a) では、広告許可領域の上段200fにアイコンが存在しているので、ユーザのアイコンに対する興

味レベルが低いことを示しており、その興味レベルに対応した広告内容「割引セール実施中！！！」のみが表示されている。その後ユーザによって、ビデオデッキAのアイコン107が広告許可領域200の下段200nに移動されると、前述の処理と同様、アイコンが移動されたことを検知して、当該アイコンの位置が変更されたことを配信予約管理部13に通知し、変更後のアイコン位置に応じた広告内容が配信されるようになる。アイコンがユーザの興味レベルが高いことを示す下段200nに移動されたことに応じて、その興味レベルに対応した広告内容「最新機種をこの価格で！！！」という、さらに購買意欲を高めようとする広告内容に変更される。また、前述の通り、コンテンツDBにはさらに関連商品の情報として、ビデオテープに関する広告内容「さらに、今なら同時お買い上げで、ビデオテープ2割引！」と関連商品（この例ではビデオテープ）のアイコン108とが登録されているため、これらの情報も合わせて表示する。

【0058】

広告中に含まれて表示されたアイコン108についても、前述したように、ドラッグアンドドロップ等の操作を行って、広告許可領域200への移動を行うことにより、図26（b）に示すように、ユーザの興味レベルに応じた情報の提供が行われるようになる。ユーザは関連商品のアイコンが広告情報と共に表示されたため、関連商品の情報を容易に取得できると共に、関連商品を広告許可領域200に容易に登録することが可能となる。

【0059】

なお、図27に示したコンテンツDB11では、各アイコンに対応づけて記憶されているコンテンツ中に関連商品のアイコン108およびアイコンに関する情報を記載するようにしているが、別の形態で実現されてもよい。

【0060】

例えば、図28に示すように、サブコンテンツDB19を設ける。サブコンテンツDB19には、アイコン（例えば、商品）と関連するアイコン（例えば、関連商品や付属品等）を対応づけて記憶しておく。図30にサブコンテンツDB19の例を示す。サブコンテンツDB19は、コンテンツID、アイコンID、アイコン位置、追加表示アイコンID、追加表示コンテンツ等から構成される。コンテンツ

IDの欄には、コンテンツを識別するための識別情報が格納されている。アイコンIDの欄には、追加表示を行う対象となるアイコンを識別するための識別情報が格納されている。追加表示アイコンIDの欄には、アイコンIDに対応して追加表示されるアイコンの識別情報が格納されている。追加表示コンテンツの欄には、アイコンIDに対応して追加表示される情報が格納されたアドレスが格納されている。なお、追加表示アイコンIDと追加表示コンテンツは、必ずしも個別に格納されている必要は無く、追加表示コンテンツの内容に追加表示アイコンIDの識別情報を記載する場合には、追加表示アイコンIDの欄は設けず、追加表示コンテンツ中に含まれるようにしてもよい。

【0061】

この場合、コンテンツDB11には、図11や図13に例示されているように、アイコンに関する情報のみを格納しておく。

【0062】

サブコンテンツDB19を利用する場合の、情報配信部14の処理の流れの例を図29に基づいて説明する。

【0063】

情報配信部14は、広告許可領域200 内で、アイコンの移動操作がなされた、あるいは、コンテンツDB11の配信タイミングに定義した事象が発生したことを検知する（ステップ#2901）。図26の例であれば、ビデオデッキAのアイコン107（アイコンID：icon-vd01-100-v1）が、広告許可領域200 内で移動されたことを検知する。

【0064】

検知された操作あるいは事象に対応するアイコンを特定し、コンテンツDB11を検索し、配信すべきコンテンツを特定し、さらに、配信予約管理DB12を参照して、情報の配信先を抽出する（ステップ#2903）。

【0065】

情報を配信すべきアイコンのアイコンIDと、必要に応じてアイコン位置をキーにして、サブコンテンツDBを検索し、アイコンIDとアイコン位置に対応づけて記憶されている追加表示アイコンIDと追加表示コンテンツのアドレスを取

得する（ステップ#2905）。図28の例では、ビデオデッキAのアイコン107のアイコンID"icon-vd01-100-v1"と移動操作後のアイコン位置"NEAR"をキーにして、サブコンテンツDBを検索し、追加表示アイコンID："icon-tp01-200-v2"と追加表示コンテンツのアドレス"file://c/V20001005-01-S1-01.dat"を取得する。

【0066】

アイコンに対応づけて記憶された情報と、追加表示アイコン、追加表示コンテンツを合成して、配信情報を生成する（ステップ#2907）。

【0067】

合成した情報を、配信先に送信する（ステップ#2909）。

【0068】

配信された情報を受信したユーザの端末は、図28（a）に示すように、追加表示アイコンを含んだ情報を該当するアイコンの近傍あるいは所定の欄に表示する。

【0069】

また、広告情報として表示された関連商品のアイコン108に対してユーザが広告許可領域200に移動操作を行わずに、アイコン108に対して指示操作を行うだけで、広告許可領域200に移動されるようにしてもよい。この場合、図2のステップ#104において、アイコンに対する操作を検出し、所定領域への移動でなかったと判断された場合に（ステップ#105でNoの場合）、広告中のアイコンに対する操作かどうかを判定するステップを追加し、さらに広告情報に含まれるアイコンであると判断された場合は、当該広告情報の表示元となる商品のアイコンの位置を取得し、広告情報に含まれるアイコンの表示位置とし、関連商品のアイコンIDと共に、配信予約要求部25および画面情報生成部21に通知する。配信予約要求部25は、通知されたアイコンIDとアイコン位置に基づいて、配信予約データを生成し、配信予約管理部13に通知する。配信予約管理部13は、通知された配信予約データに基づいて、関連商品を配信予約管理DB12に登録する。

【0070】

これにより、アイコンが商品を表す表象である場合に、当該商品に関連する商

品のアイコンを商品の広告情報に含めて表示することが可能となる。複数の店舗が参加しているインターネットショップにおいて、店舗が取り扱っている商品のアイコンと当該商品に関連する商品のアイコンとを対応づけて記憶しておくことにより、ユーザがある店舗の商品を広告許可領域200に移動した場合、その商品に対応づけて記憶されている同一店舗が販売している関連商品のアイコンを広告情報として提示することが可能となり、ユーザは表示された関連商品のアイコンを操作することにより関連商品の購入や購入検討中であることを広告配信元に通知することを容易に行なうことが可能となり、引いては顧客に対して同一店舗での関連商品の購入を促すことになり、サブコンテンツDBの登録を戦略的に行なうことにより、同一店舗の売上げを増加させることが可能となる。

【0071】

次に、スケジュール管理システムと本発明を連携させた例を示す。

【0072】

図16から図21の画面例に基づいて、説明する。

【0073】

利用者端末の2の画面には、スケジュール表300と情報提供要求領域200が表示されている。

【0074】

利用者は、スケジュール表300に自己の予定301を入力する。図16の例では、6月20日から23日までLos Angeles、24日にOrland、27日にTokyoが入力されている。この時点では、情報提供要求領域200には、何も登録されていないため、スケジュールデータベースの更新のみが行われる。

【0075】

次に、情報提供要求領域200に航空会社のアイコン401を登録したとする(図17)。アイコン401が情報提供要求領域200に登録されたことにより、前述の通り配信予約がサーバに要求される。この際、アイコン情報だけでなく、スケジュール表300の内容を追加情報として通知する。これにより、選択された航空会社の予約管理システムに、利用者のスケジュールが通知される。航空会社の予約システムは、利用者のスケジュールデータから、スケジュールに応じたフライト

スケジュールを利用者に送信する。利用者端末2は、フライトスケジュールを受信すると、スケジュール表の該当欄302に表示する（図18）。ここで、さらに宿泊先のアイコン402,403を登録したとする（図19）。利用者は宿泊先の候補として2つのホテルを登録している。各ホテルには、スケジュール表の内容と共に、他のホテルも候補に上がっていることが通知される。ホテルからは、宿泊可能期間の提示とともに、キャンペーン情報が通知される。それぞれのホテルには、他のホテルも候補に挙がっていることが、通知されているため、キャンペーン情報は固定の内容だけでなく、他のホテルよりも価格を下げる、あるいは、異なったサービスを提供するといった内容に変更する、あるいは、追加するようにしてもよい。利用者端末2は、宿泊可能期間303とキャンペーン情報304を表示する（図20）

さらに、利用者が、利用する便305や宿泊可能期間305を選択すると、関連情報に変更が発生したことを検知して、選択された便を該当の航空会社に通知し、選択された宿泊指定期間を該当のホテルに通知する。選択された情報を受け取った航空会社およびホテルは、利用料金を通知する。利用者端末は、利用料金を受信すると、利用料金の合計310を表示する（図21）。合計欄の横に表示されている決定ボタン311を押下すると、当該便とホテルの宿泊の予約申込情報が生成されて、サーバに送出される。サーバは、予約申込管理D Bを更新するとともに、予約番号等を利用者端末に送信する。利用者端末は、通知されてきた予約情報を表示する。

【0076】

以上により、利用者は、スケジュールを入力し、利用する交通機関や宿泊施設のアイコンを所定の領域に移動あるいはコピーするだけで、スケジュールに即したダイヤ情報や便情報、宿泊先の空き状況が確認でき、さらに、予約管理システムと連携している場合、予約の申し込みも同様の操作で行うことができる。

【0077】

利用者は、アイコンの移動という簡単な操作だけで、情報の入手やサービスの利用申し込みが可能となる。

【0078】

次に、タレント会社の情報サービスと連携した例を示す。利用者端末には、情報入手可能なタレントのアイコンが表示されているカタログ領域600 と、利用者の予定を管理するとともに、入手したタレントの情報を表示するスケジュール表500 の領域、情報を入手したいタレントを設定する情報提供要求領域200 が表示される。なお、スケジュール表500 の領域は、タグをクリックすることにより、電子雑誌の閲覧（マガジンのタグ）、チケット情報の参照、申し込み（チケットのタグ）、各種物品の購入（オンラインショッピングのタグ）、テレビ番組のビデオ録画（TV予約のタグ）、伴奏の演奏（ジュークボックスのタグ）、メールサービス（ユーザメールのタグ）など、各種サービスが受けれるように構成されている。

【0079】

利用者が当該サービスに接続した後の画面を図22に示す。図22では、利用者が6月20日から21日まで東京へ出張する予定が登録されたスケジュール表が表示されている。利用者が、カタログ領域600 から、歌手Aと歌手Bのアイコンを情報提供要求領域200 にコピーしたとする（図23）。情報提供要求領域200 に、アイコンがコピーされたことを検知して、サーバに歌手Aと歌手Bの情報取得要求を送出する。サーバは情報取得要求を受信すると、歌手Aと歌手Bに関するコンサートスケジュールやテレビへの出演予定などの情報を収集して、利用者端末に送信する。利用者端末は、サーバから情報を受信すると、スケジュール表500 の領域に表示する（図24）。日時の情報が付与されている情報は、スケジュール表4500 の対応する日の欄に表示されている。また、情報提供要求領域200 のアイコンに、アイコン毎にマークが付されている。歌手Aには●、歌手Bには★が付されている。スケジュール表500 に表示する情報は、どの歌手のものかが一目でわかるように、このマークを付して表示するようにしている。図24の例では、6月18日の19:00の歌番組は、歌手Aの情報であり、●マークが付されている。また、6月19日の20:00の歌番組は、歌手Bの情報であり、★マークが付されている。これにより、利用者は、自分の好みのタレントのアイコンを操作するだけで、そのタレントのスケジュール情報をカレンダー形式で確認することが可能となる。また、このカレンダー形式が利用者のスケジュー

ル表と連携している場合、利用者は自己のスケジュールと好みのタレントのスケジュールを同時に表示することが可能となる。一方、そのタレントに関する情報のみを集約して知りたい場合、情報提供要求領域200 内のタレントのアイコンの上にマウスカーソルを置くと、図25のようにそのタレントに関する情報のみを吹き出し形式で表示するようにしてもよい。図25は、歌手Bのアイコン上にマウスカーソルが置かれた場合の例である。なお、別領域に集約して表示するだけでなく、スケジュール表500 欄に表示されている歌手Bの情報の色を変える、反転表示するなど、強調表示を行って区別可能としてもよい。また、それらを組み合わせて表示するようにしてもよい。

【0080】

また、利用者が、スケジュール表500 に表示されたタレントのスケジュール情報の一つを選択して、「マガジン」や「チケット」などのタグに、ドラッグアンドドロップすると、各タグに対応したサービスを享受できるようにしておいてもよい。例えば、6月21日に歌手AのCDが発売される予定になっている。この情報を「オンラインショッピング」のタグにドラッグアンドドロップすると、CDの購入手続きがサーバに依頼されるようにしておいてもよい。また、6月20日から21日にかけては、出張が予定されているにも関わらず、好きな歌手の番組が2つも予定されている。この番組の情報をTV予約のタグにドロップすると、ビデオ予約がサーバに送信される、または、利用者端末内のディスク装置に録画されるように設定されるようにしてもよいし、接続しているビデオ装置に予約情報を送出するようにしてもよい。

【0081】

図1のシステム構成では、本発明のサービス利用提供装置や情報配信、広告配信元のサーバと、連携して動作する仮想社会空間サービスやショッピングカートサービス、予約システムなどの各種サービス提供サーバとを兼用する例を示しているが、各サービス毎がそれぞれ別のサーバで動作し、サーバ間で連携して動作するように構成されていてもよい。

【0082】

また、本発明は下記の構成を含む。

【0083】

(付記1)

利用者端末に情報提供元を代表する表象を表示すると共に、情報提供を依頼することを宣言するための所定の領域を表示し、利用者が前記表象の少なくとも1つを選択して所定の領域に移動させたことを検知して、当該表象に対応づけられている情報配信元に情報提供の依頼を行うことを特徴とするネットワーク上の情報提供要求方法。

【0084】

(付記2)

前記情報提供の要求意図を感知する端末画面上の所定の領域をその位置に応じて更に区別し、その位置区分を要求する情報に対しての興味レベルに対応させ、前記表象の移動位置に応じたレベルの情報配信を要求できるようにしたことを特徴とする付記1に記載の情報提供要求方法。

【0085】

(付記3)

前記所定の領域に表象が移動されてきたことを検知した際に、当該所定の領域に他の表象が存在するかどうかを検査し、他の表象が存在することを検知した場合、当該表象に対応づけられた情報配信元に対して、他の表象に関する情報も含めて、情報の提供を依頼することを特徴とする付記1に記載の情報提供要求方法。

【0086】

(付記4)

利用者端末にサービスの提供元を代表する表象を表示すると共に、サービスの利用を宣言するための所定の領域を表示し、利用者が希望するサービス提供元に対応する表象を選択して所定の領域に移動させたことを検知して、当該対象のサービス提供元にサービスの提供の依頼を行うサービス利用方法。

【0087】

(付記5)

ネットワークを介して、サービスの提供を行うサービス提供元を代表する表象

を利用者端末に表示するサービス提供者表示手段と、

サービスの提供を要求するためのサービス提供要求領域を利用者端末に表示する要求受付領域表示手段と、

利用者が、利用者端末に表示されている表象をサービス提供要求領域に移動したことを検知する検知手段と、

検知手段にて検知された表象を識別して、サービスの提供を要求するデータを生成して、当該表象のサービス提供元に対して送出する、サービス提供要求手段と、

サービス提供元から提供されたサービスを利用者端末上で実施するサービス実施手段と

と備えることを特徴とするサービス利用装置。

【0088】

(付記6)

前記サービス提供者表示手段は、利用者の操作に応じて、表象の表示位置を変更可能な手段を備え、利用者毎に当該表象の表示位置を管理する手段を備えており、

前記サービス提供要求手段は、サービス要求データに、選択の対象となった表象の表示位置の情報を含めてサービス提供元に送出し、

前記サービス実施手段はサービス提供元から当該表象の表示位置に応じて調整されたサービスを実施することを特徴とする付記5に記載のサービス利用装置。

【0089】

(付記7)

前記検知手段は、前記サービス要求領域上の表象の位置を検出して、前記サービス要求手段に通知し、

前記サービス提供要求手段は、サービス要求データに、前記サービス要求領域上の表象の位置をサービス提供元に送出し、

前記サービス実施手段はサービス提供元から当該サービス要求領域上の表象の位置に応じて調整されたサービスを実施することを特徴とする付記5に記載のサービス利用装置。

【0090】

(付記8)

前記サービス提供要求手段は前記サービス提供要求領域に既に他の表象が存在しているかどうかを検知し、他の表象が存在している場合、他の表象に関する情報もあわせて、サービス提供元に対して送出することを特徴とする付記5に記載のサービス利用装置。

【0091】

(付記9)

ネットワークを介して、利用者の申請により所望の情報を定期的あるいは随時送出する情報提供システムにおいて、

情報の提供元となる情報提供元を代表する表象を利用者端末に表示する情報提供者表示手段と、

情報の提供依頼を受け付ける情報提供依頼領域を利用者端末に表示する情報提供依頼領域表示手段と、

利用者が、情報提供元を表す表象の1つないしは複数を選択し、情報提供依頼領域に移動したことを検知する検知手段と、

検知手段にて検知された表象を識別して、当該表象に対応付けられた情報提供元に対して、情報提供を要求するデータを生成して送出する、情報提供要求手段と、

情報提供要求元から配信してきた情報を表示する情報表示手段とを備えることを特徴とする情報提供システム。

【0092】

(付記10)

前記情報提供者表示手段は、利用者の操作に応じて、表象の表示位置を変更可能な手段を備え、利用者毎に当該表象の表示位置を管理する手段を備えており、

前記情報提供要求手段は、情報提供要求データに、選択の対象となった表象の表示位置を含めて情報提供元に送出し、

前記情報表示手段は情報提供元から当該表象の表示位置に応じて調整された情報を受信して表示することを特徴とする付記9に記載の情報提供システム。

【0093】

(付記11)

前記検知手段は、前記情報提供要求領域上の表象の位置を検出して、前記情報提供要求手段に通知し、

前記情報提供要求手段は、情報提供要求データに、前記情報提供要求領域上の表象の位置を含めて情報配信元に送出し、

前記情報表示手段は情報配信元から当該情報提供要求領域上の表象の位置に応じて調整された情報を表示することを特徴とする付記9に記載の情報提供システム。

【0094】

(付記12)

前記情報提供要求手段は前記情報要求領域に既に他の表象が存在しているかどうかを検知し、他の表象が存在している場合、他の表象に関する情報もあわせて、情報配信元に対して送出することを特徴とする付記9に記載の情報提供システム。

【0095】

(付記13)

ネットワークを介して、利用者の望む広告情報を定期的あるいは随時配信する広告配信サービスにおいて、

広告の配信元となる広告配信元を代表する表象を利用者端末に表示する広告配信者表示手段と、

広告の配信予約を受け付ける広告希望領域を利用者端末に表示する手段と、

利用者が、情報提供者を表す表象の1つないしは複数を選択し、広告希望領域に移動したことを検知する検知手段と、

検知手段にて検知された表象を識別して、当該表象に対応付けられた広告配信者に対して、配信予約を要求するデータを生成して送出する、広告配信予約要求手段と、

広告配信者から配信されてきた広告情報を利用者端末に表示する情報表示手段と

を備えることを特徴とする広告配信システム。

【0096】

(付記14)

前記広告配信者表示手段は、利用者の操作に応じて、表象の表示位置を変更可能な手段を備え、利用者毎に当該表象の表示位置を管理する手段を備えており、

前記広告配信予約要求手段は、情報配信予約要求データに、選択の対象となつた表象の表示位置を含めて広告配信元に送出し、

前記情報表示手段は広告配信元から当該表象の表示位置に応じて調整された広告情報を受信して表示することを特徴とする付記13に記載の広告配信システム

【0097】

(付記15)

前記検知手段は、前記広告希望領域上の表象の位置を検出して、前記広告配信予約要求手段に通知し、

前記広告配信予約要求手段は、配信予約要求データに前記広告希望領域上の表象の位置を含めて広告配信元に送出し、

前記情報表示手段は情報配信元から当該広告希望領域上の表象の位置に応じて調整された広告情報を表示することを特徴とする付記13に記載の広告配信システム。

【0098】

(付記16)

前記広告配信予約要求手段は前記広告希望領域に既に他の表象が存在しているかどうかを検知し、他の表象が存在している場合、他の表象に関する情報もあわせて、広告配信元に対して送出することを特徴とする付記13に記載の広告提供システム。

(付記17)

前記情報表示手段は、当該表象に関連する他の表象を含む広告情報を広告配信者から受信して、受信した関連する他の表象と共に、広告情報を利用者端末に表示することを特徴とする付記13に記載の広告配信システム。

(付記18)

前記検知手段は、指示操作がなされたアイコンが広告情報に含まれる表象であるか否かを判断し、広告情報に含まれる表象である場合に、当該広告希望領域に存在する当該広告情報の対象となる表象の位置情報を取得して、広告情報に含まれる表象と取得した位置情報を広告配信予約要求手段に通知する手段を含み、

前記広告配信予約要求手段は、検知手段により通知された広告情報に含まれる表象と取得した位置情報を基づいて配信予約要求データを生成する手段とを含むことを特徴とする付記13に記載の広告配信システム。

【0099】

(付記19)

ネットワークを介して、利用者からの情報配信要求を受け付けて、当該利用者の所望する情報を当該ユーザに配信する情報提供システムに用いられる利用者端末装置であって、

ネットワークを介して情報の配信元を代表する表象を取得して利用者端末に表示する情報配信者表示手段と、

独立した所定の領域を表示する所定領域表示手段と、

利用者が表示された表象の1つあるいは複数の表象を選択し、前記所定の領域に移動したことを検知する手段と、

検知された表象に対応づけられた情報配信元に対して、情報提供依頼を生成し、サーバに送信する情報提供要求手段と、

情報提供元から送信されてきた情報を利用者端末に表示する情報表示手段とを備えることを特徴とする情報提供システムのため端末装置。

【0100】

(付記20)

前記情報提供者表示手段は、利用者の操作に応じて、表象の表示位置を変更可能な手段を備え、利用者毎に当該表象の表示位置を管理する手段を備えており、

前記情報提供要求手段は、情報提供要求データに、選択の対象となった表象の表示位置を含めて情報提供元に送出し、

前記情報表示手段は情報提供元から当該表象の表示位置に応じて調整された情

報を受信して表示することを特徴とする付記19に記載の情報提供システムのための端末装置。

【0101】

(付記21)

前記検知手段は、前記情報提供要求領域上の表象の位置を検出して、前記情報提供要求手段に通知し、

前記情報提供要求手段は、情報提供要求データに、前記情報提供要求領域上の表象の位置を情報配信元に送出し、

前記情報表示手段は情報配信元から当該情報提供要求領域上の表象の位置に応じて調整された情報を表示することを特徴とする付記19に記載の情報提供システムのための端末装置。

【0102】

(付記22)

前記情報提供要求手段は前記情報提供要求領域に既に他の表象が存在しているかどうかを検知し、他の表象が存在している場合、他の表象に関する情報もあわせて、情報提供元に対して送出することを特徴とする付記19に記載の情報提供システムのための端末装置。

【0103】

(付記23)

ネットワークを介して、利用者からの情報配信要求を受け付けて、当該利用者の所望する情報を当該ユーザに配信する情報配信システムに用いられるサーバ装置であって、

ネットワークを介して、予め情報の配信元毎に対応づけて記憶してある表象を利用者端末に送出する手段と、

利用者端末での表象の選択に応じて送出されてきた情報配信要求に基づいて、当該表象毎に情報の配信先を管理しているデータベースを更新する配信予約管理手段と、

情報の配信先を管理しているデータベースの内容に基づいて、利用者の所望している情報を配信する情報配信手段と

を備えることを特徴とする情報配信システムに用いられるサーバ装置。

【0104】

(付記24)

前記配信予約管理手段は、利用者端末に送出した表象の利用者端末での表示位置を取得し、表示位置に応じて興味のランクを判定し、ランク情報と共にデータベースに格納するランク判定手段を有し、

前記情報配信手段は、データベースに格納されているランク情報に基づいて、利用者に配信する情報量を調整する配信情報調整手段を有することを特徴とする付記23に記載の情報提供システムに用いられるサーバ装置。

【0105】

(付記25)

ネットワークを介して、利用者からの配信予約要求を受け付けて、当該利用者の所望する広告情報を当該利用者に配信する広告配信システムに用いられる利用者端末装置であって、

ネットワークを介して広告配信元を代表する表象を取得して表示する広告配信元表示手段と、

独立した所定の領域を表示する手段と、

利用者が表示された表象の1つあるいは複数を選択し、前記所定の領域に移動したことを検知する手段と、

検知された表象に対応づけられた広告配信元に対して、配信予約を生成し、サーバに送信する配信予約要求手段と、

広告配信元から送信されてきた広告情報を利用者端末に表示する手段とを備えることを特徴とする広告配信システムのための端末装置。

【0106】

(付記26)

前記広告配信者表示手段は、利用者の操作に応じて、表象の表示位置を変更可能な手段を備え、利用者毎に当該表象の表示位置を管理する手段を備えており、

前記配信予約要求手段は、配信予約要求データに、選択の対象となった表象の表示位置を含めて広告配信元に送出し、

前記情報表示手段は広告配信元から当該表象の表示位置に応じて調整された広告情報を受信して表示することを特徴とする付記25に記載の広告配信システムのための端末装置。

【0107】

(付記27)

前記検知手段は、前記広告希望領域上の表象の位置を検出して、前記広告配信予約要求手段に通知し、

前記広告配信予約要求手段は、配信予約要求データに前記広告希望領域上の表象の位置を含めて広告配信元に送出し、

前記情報表示手段は情報配信元から当該広告希望領域上の表象の位置に応じて調整された広告情報を表示することを特徴とする付記25に記載の広告配信サービスのための端末装置。

【0108】

(付記28)

前記配信予約要求手段は前記広告希望領域に既に他の表象が存在しているかどうかを検知し、他の表象が存在している場合、他の表象に関する情報もあわせて、広告配信元に対して送出することを特徴とする付記23に記載の広告提供システムのための端末装置。

【0109】

(付記29)

ネットワークを介して、利用者からの配信予約要求を受け付けて、当該利用者の所望する広告情報を当該利用者に配信する広告配信システムに用いられるサーバ装置であって、

ネットワークを介して、予め広告配信元毎に対応づけて記憶してある表象を利用者端末に送出する手段と、

利用者端末での表象の選択に応じて送出されてきた配信予約要求に基づいて、当該表象毎に広告の配信先を管理しているデータベースを更新する配信予約管理手段と、

広告の配信先を管理しているデータベースの内容に基づいて、利用者の所望し

ている広告情報を配信する情報配信手段と
を備えることを特徴とする広告配信システムに用いられるサーバ装置。

【0110】

(付記30)

前記配信予約管理手段は、利用者端末に送出した表象の利用者端末での表示位置を取得し、表示位置に応じて興味のランクを判定し、ランク情報と共にデータベースに格納するランク判定手段を有し、

前記情報配信手段は、データベースに格納されているランク情報に基づいて、利用者に配信する広告情報を調整する広告情報調整手段を有することを特徴とする付記29に記載の広告配信システムに用いられるサーバ装置。

【0111】

(付記31)

ネットワークを介して、利用者からの情報配信要求を受け付けて、当該利用者の所望する情報を当該ユーザに配信する情報提供システムに用いられる利用者端末装置のためのプログラムが格納された記憶媒体であって、

ネットワークを介して取得した情報の配信元を代表する表象を利用者端末に表示するステップと、

所定の目的のために使用する領域を表示するステップと、

少なくとも1つの表象が前記領域に位置づけられたことを検知するステップと、

検知された表象に予め対応づけられた情報配信元に対して情報提供依頼を送出するステップと、

情報提供元から送信されてきた情報を利用者端末に表示するステップと、
を含むことを特徴とする情報提供システムのための端末装置に使用される記憶媒体。

【0112】

【発明の効果】

以上により、利用者は、アイコンやオブジェクト等の表象を所定の領域に移動するという簡便な操作を行うだけで所望のサービスの利用や情報の提供を要求す

ることが可能となる。

【0113】

さらに、所定の領域に移動された表象に関連する他の表象を含む情報を提供することにより、特にネットワーク上に仮想的に設営された店舗等において、店舗の販売商品の拡販を促進することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施形態における全体構成を示す図。

【図2】

本発明の一実施形態における処理の流れを示す図。

【図3】

【A】配信予約要求部の処理の流れを示す図。

【B】配信予約管理部の処理の流れを示す図。

【C】配信予約管理部の別の処理の流れを示す図。

【図4】

キャンセル要求処理の流れを示す図。

【図5】

会員情報DBの内容の例を示す図。

【図6】

本サービスの一実施形態における画面の例を示す図。

【図7】

アイコンデータの内容の例を示す図

【図8】

配信予約データのフォーマットの例を示す図。

【図9】

配信予約登録DBの内容の例を示す図

【図10】

情報配信部の処理の流れを示す図。

【図11】

コンテンツDBの内容の例を示す図。

【図12】

配信予約管理DBの内容の例を示す図。

【図13】

コンテンツDBの内容の別の例を示す図。

【図14】

周辺情報データの内容の例を示す図。

【図15】

ショッピングカートシステムに応用した場合の画面の例を示す図。

【図16】

予約システムに応用した場合の画面の例を示す図（その1）。

【図17】

予約システムに応用した場合の画面の例を示す図（その2）。

【図18】

予約システムに応用した場合の画面の例を示す図（その3）。

【図19】

予約システムに応用した場合の画面の例を示す図（その4）。

【図20】

予約システムに応用した場合の画面の例を示す図（その5）。

【図21】

予約システムに応用した場合の画面の例を示す図（その6）。

【図22】

タレント情報サービスに応用した場合の画面の例を示す図（その1）。

【図23】

タレント情報サービスに応用した場合の画面の例を示す図（その2）。

【図24】

タレント情報サービスに応用した場合の画面の例を示す図（その3）。

【図25】

タレント情報サービスに応用した場合の画面の例を示す図（その4）。

【図26】

広告希望領域の表示例を示す図。

【図27】

コンテンツのDBの内容の例を示す図。

【図28】

本発明の別の実施形態における全体構成図を示す図。

【図29】

情報配信部の別の処理の流れを示す図。

【図30】

サブコンテンツDBの内容の例を示す図

【符号の説明】

1 サーバ

2 利用者端末

3 ネットワーク

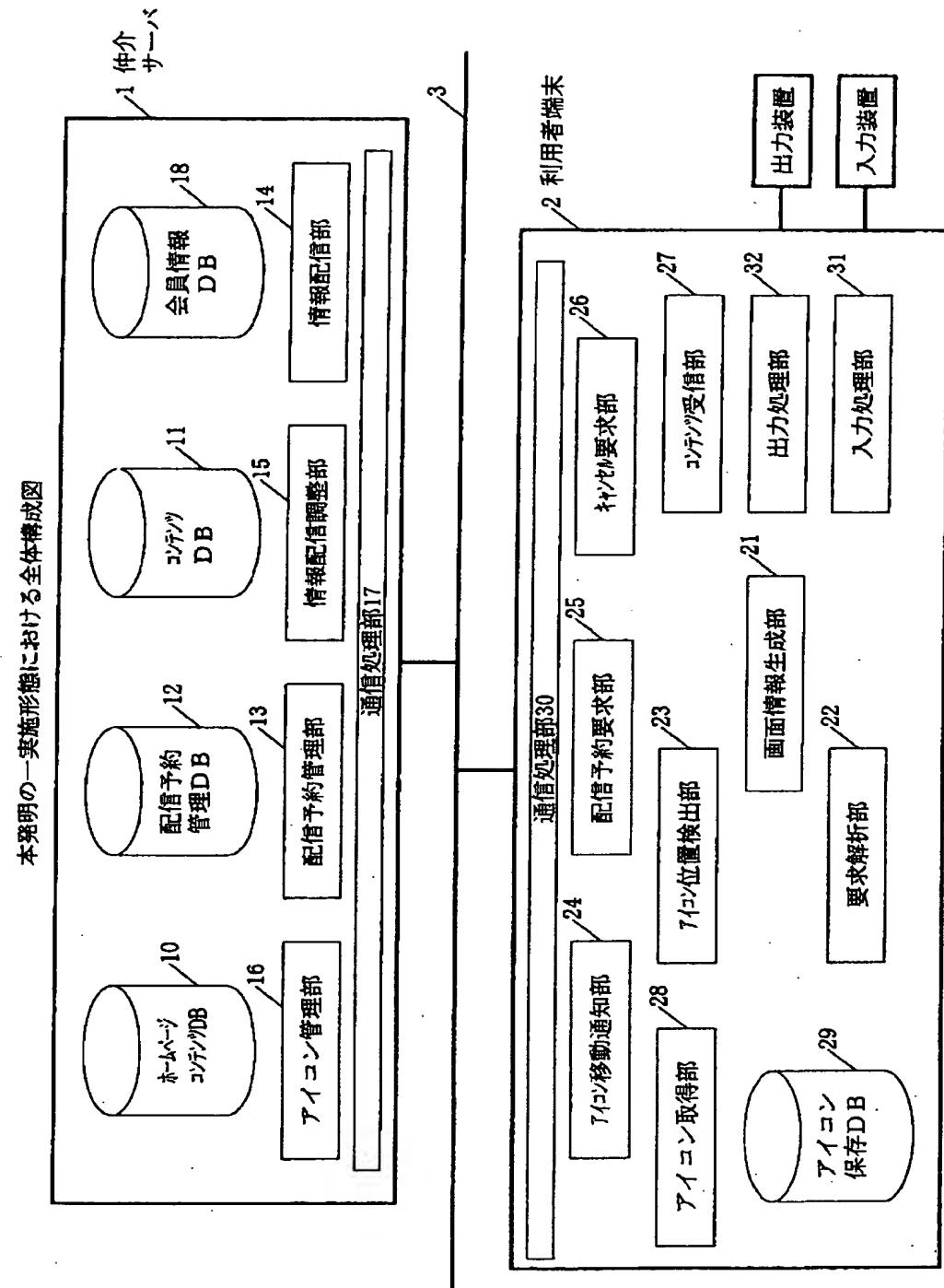
200、201 広告希望領域（サービス利用要求領域、情報提供要求領域）

102、103、105～108、401～403 アイコン（表象）

【書類名】

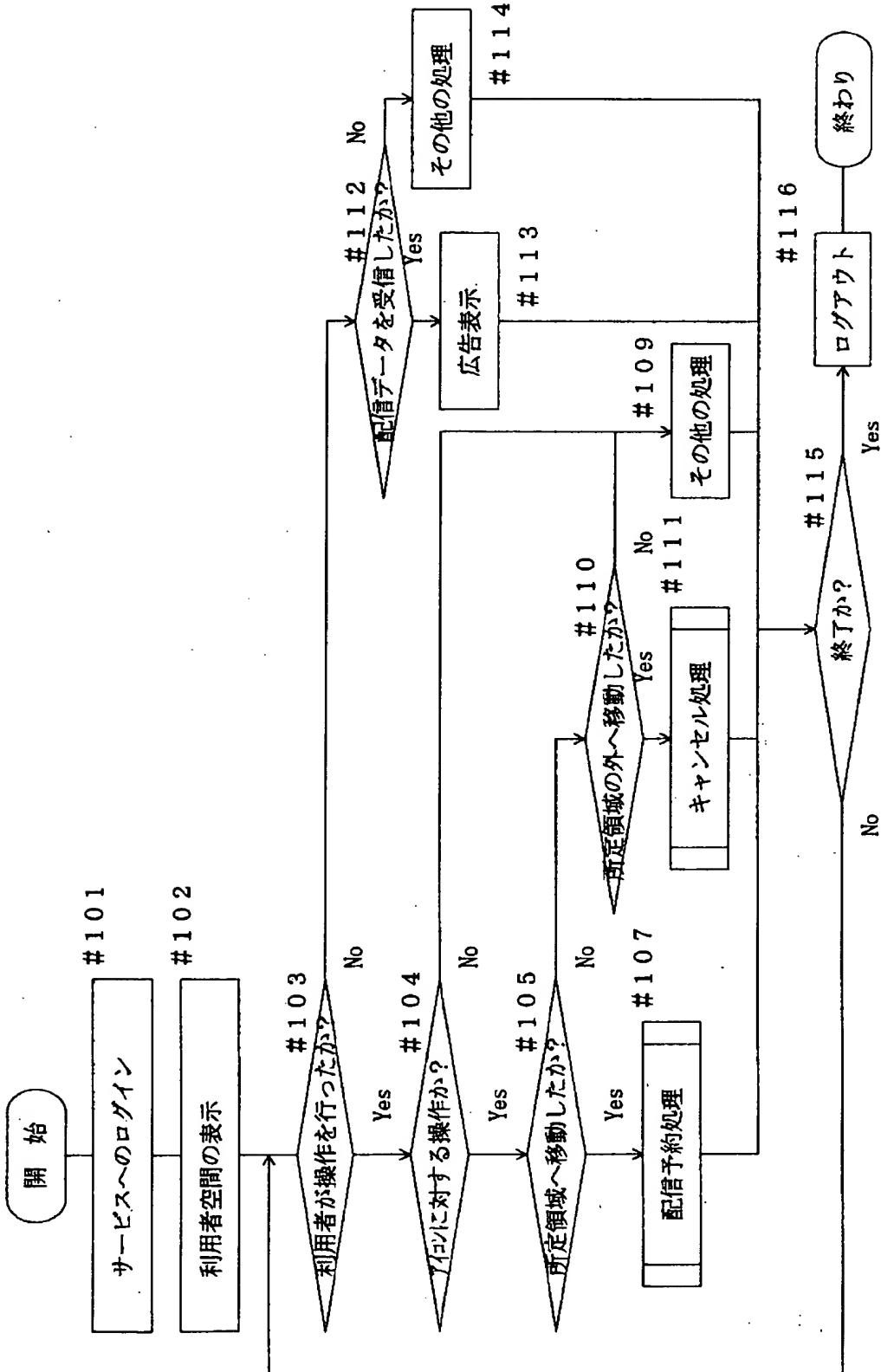
図面

【図1】

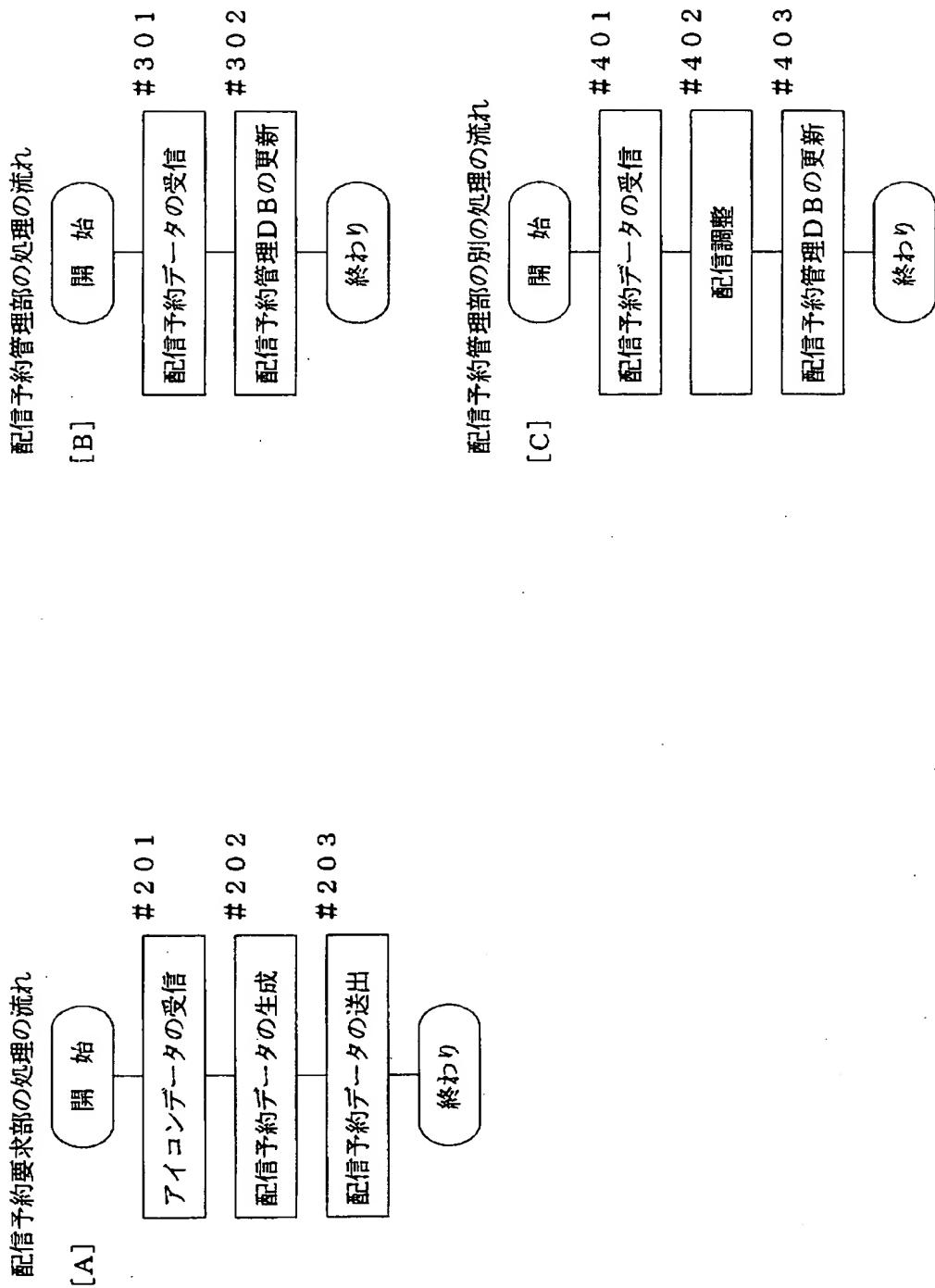


【図2】

本発明の一実施形態における処理の流れを示す図

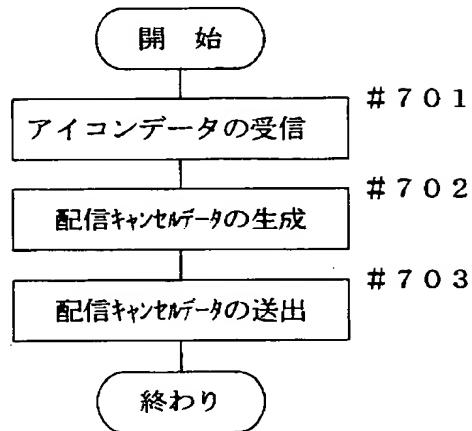


〔図3〕



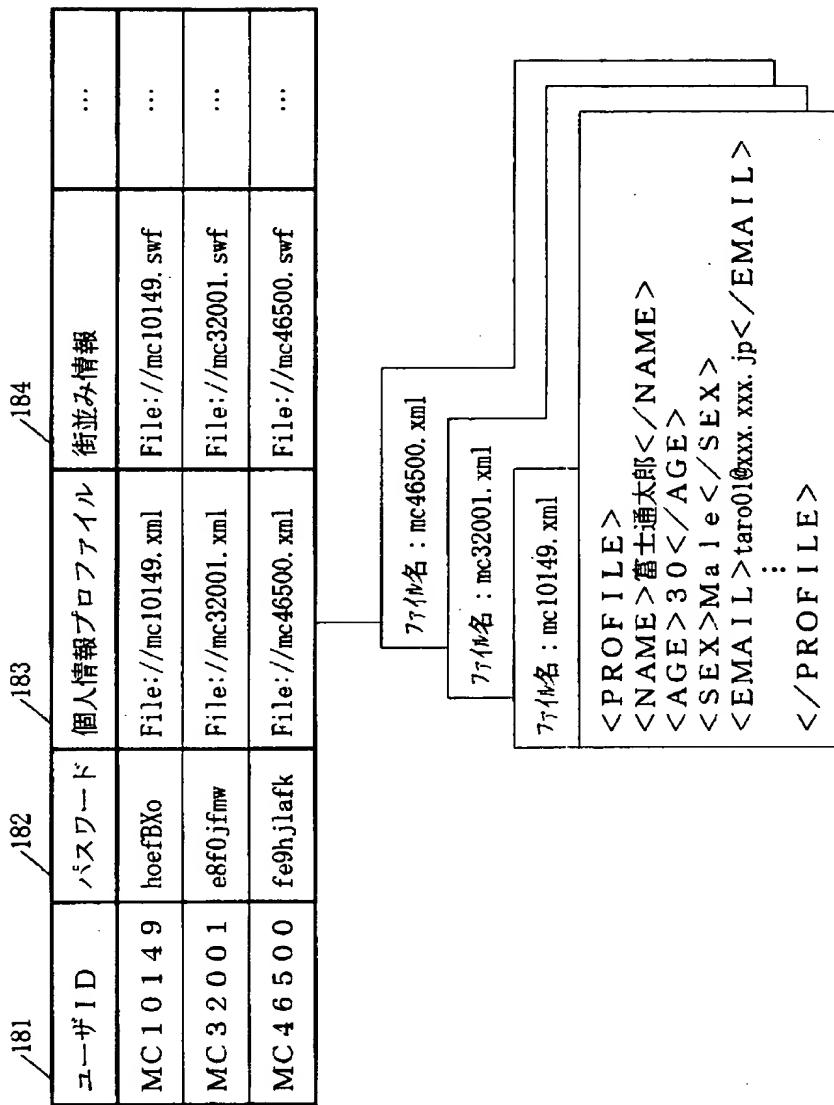
【図4】

キャンセル要求部の処理の流れ

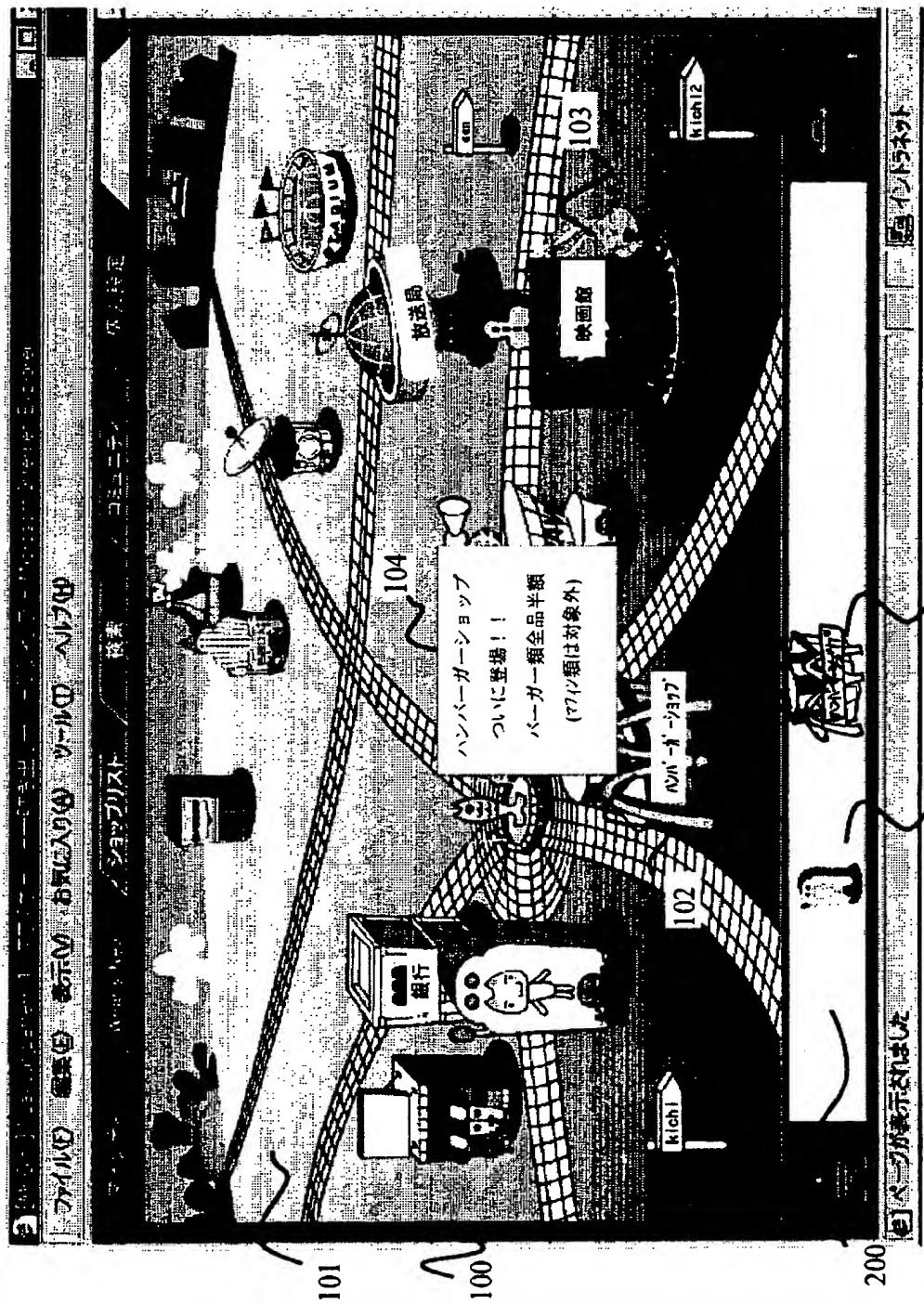


【図5】

会員情報DBの内容の例を示す図

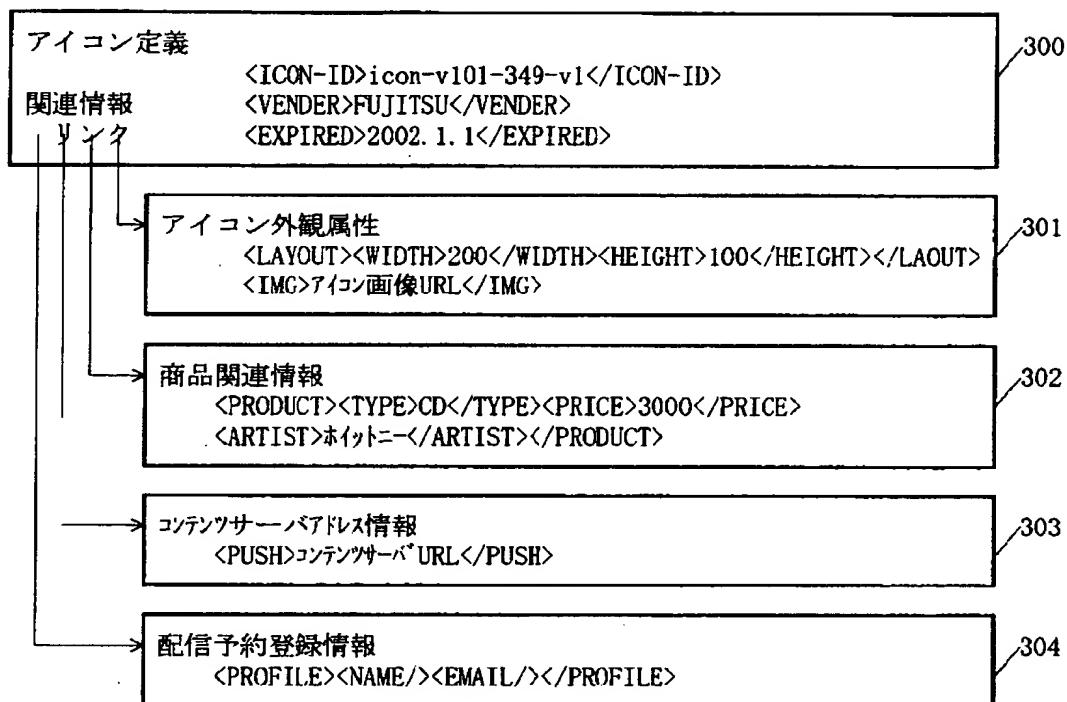


【図6】



【図7】

アイコンデータの内容の例を示す図



【図8】

配信予約データのフォーマットの例を示す図

[A] <REQUEST-TYPE>配信予約</REQUEST-TYPE>

<ICON-ID>icon-v101-349-v1</ICON-ID>

<NAME>富士通太郎</NAME>

<EMAIL>taro01@xxx. xxx. jp</EMAIL>

[B] <REQUEST-TYPE>配信予約</REQUEST-TYPE>

<ICON-ID>icon-v101-349-v1</ICON-ID>

<NAME>富士通太郎</NAME>

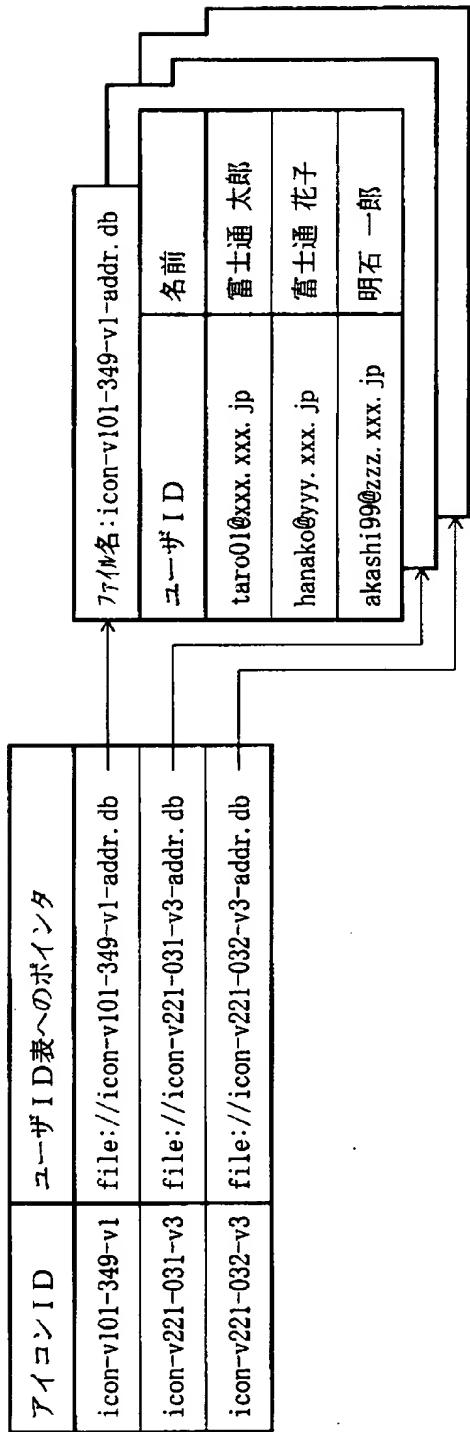
<EMAIL>taro01@xxx. xxx. jp</EMAIL>

<POSITION><AFTER> 100, 300 </AFTER>

<BEFORE> 300, 400 <BEFORE></POSITION>

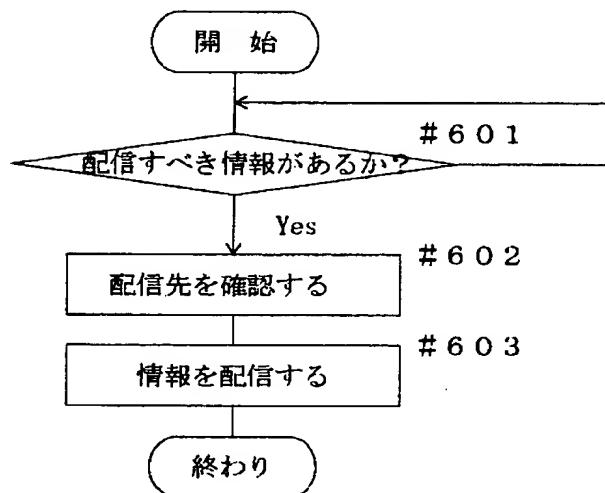
【図9】

配信予約管理DBの内容の例を示す図



【図10】

情報配信部の処理の流れを示す図



【図11】

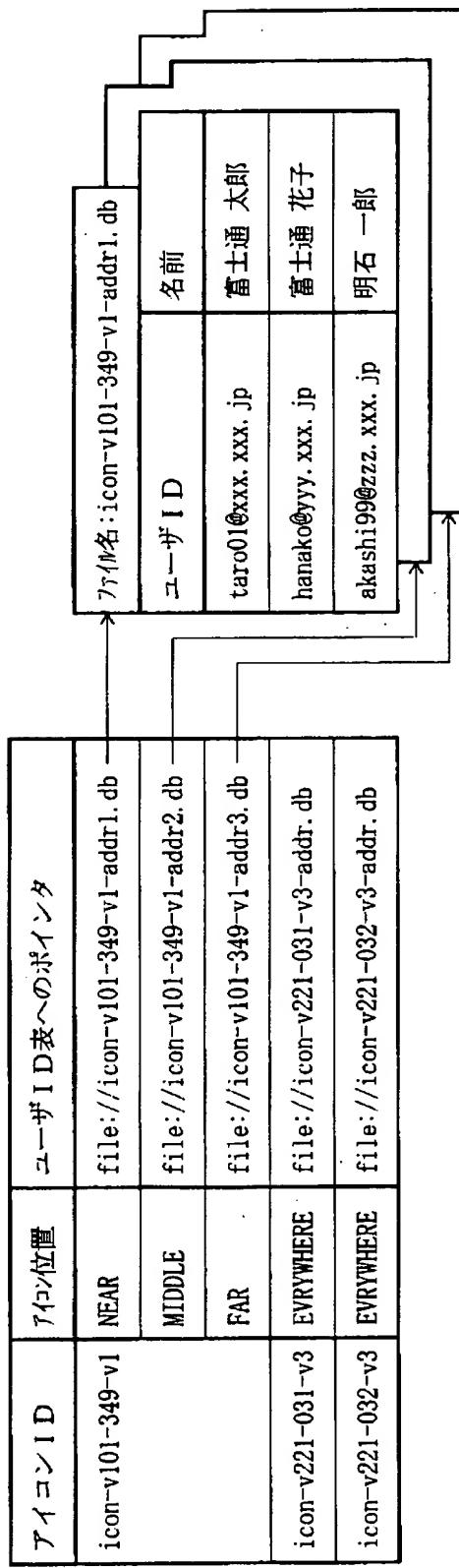
コンテンツDBの内容の例を示す図

コンテンツID	アイコンID	コンテンツURL	配信タイミング
C20001005-01	icon-v101-349-v1	file:///c/C20001005-01.dat	コンテンツツツが更新されたら
C20001005-02	icon-v221-031-v3	file:///c/C20001005-02.dat	6時間毎
C20001010-01	icon-v221-032-v3	file:///c/C20001010-01.dat	毎日午前9時

ファイル名:C20001005-01.dat
 ハンバーガーショップ
 ついに登場!!
 ハーガー類全品半額
 (マフィン類を除く)

【図12】

配信予約管理DBの内容の例を示す図



【図13】

コンテンツDBの内容の例を示す図

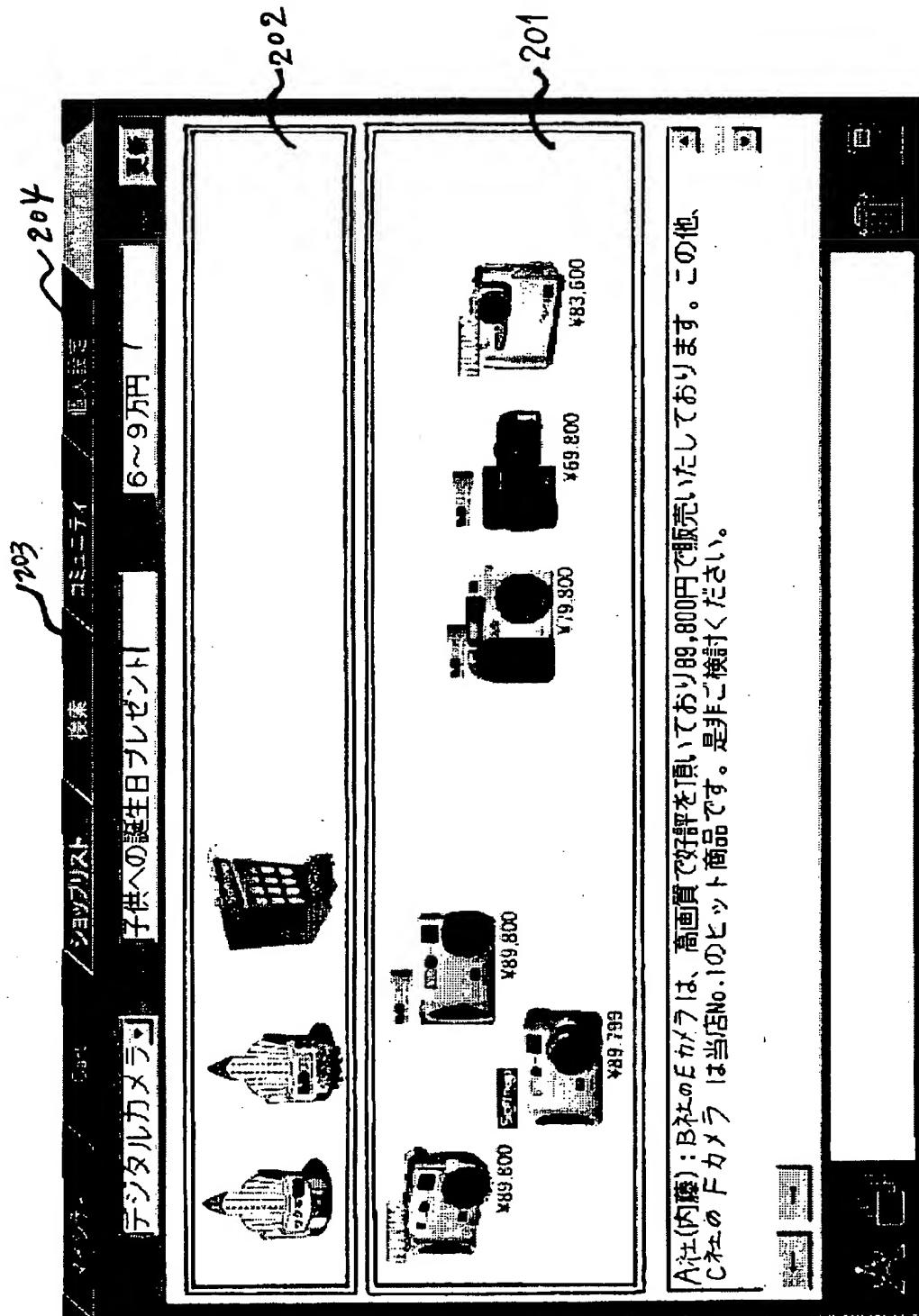
コンテンツID	アイコンID	アイコン位置	コンテンツURL	配信タイミング
C20001005-01	icon-v101-349-v1	NEAR	file:///c/C20001005-01-01.dat	コンテンツが更新されたら
		MIDDLE	file:///c/C20001005-01-02.dat	コンテンツが更新されたら
		FAIR	file:///c/C20001005-01-03.dat	コンテンツが更新されたら
C20001005-02	icon-v221-031-v3	EVERWHERE	file:///c/C20001005-02.dat	6時間毎
C20001010-01	icon-v221-032-v3	EVERWHERE	file:///c/C20001010-01.dat	毎日午前9時
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ファイル名:C20001005-01-01.dat </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> “割引セール実施中！” “2000.10～” “詳細はこちらへ→” </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ファイル名:C20001005-01-02.dat </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> “割引セール実施中！” “2000.10～” </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ファイル名:C20001005-01-03.dat </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> “割引セール実施中！” </div>				

【図14】

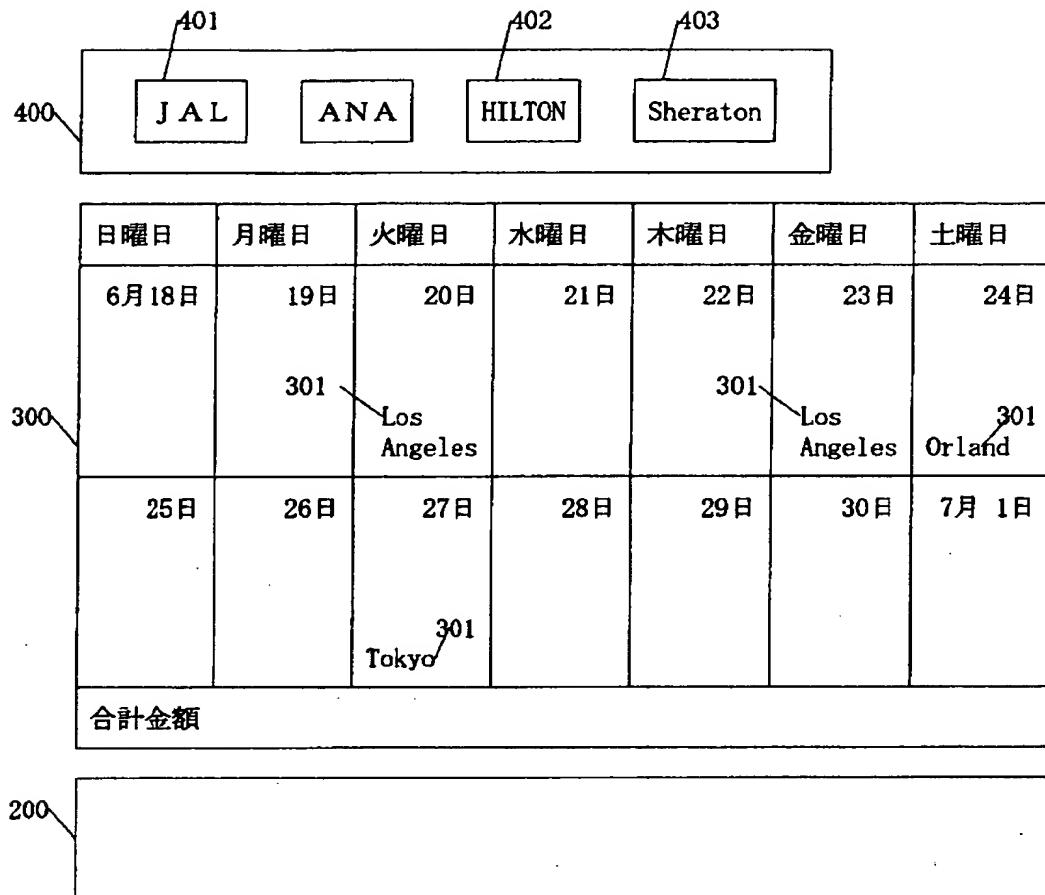
周辺情報データの内容の例を示す図

```
<AREAINFO AREANAME="ADVERTISE_AREA" AREAID="AD01">
  <ICONOBJECTINFO>
    <ICONOBJECT NAME="Icon-1" ICONID="icon-v101-349-v1" POSITION="135, 30">
      <ICONOBJECT NAME="Icon-2" ICONID="icon-v221-031-v3" POSITION="249, 180">
    </ICONOBJECTINFO>
  </AREAINFO>
```

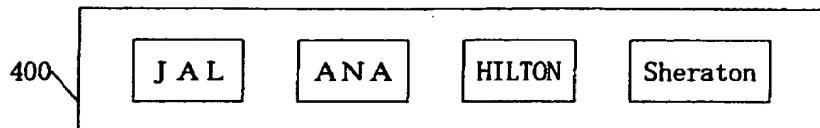
【図15】



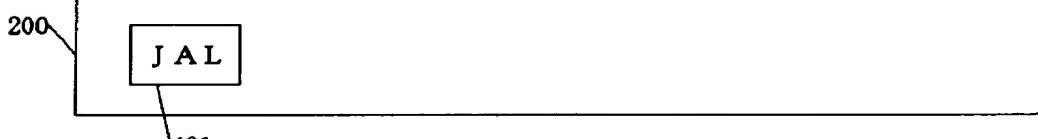
【図16】



【図17】



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
6月18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
300		Los Angeles			Los Angeles	Orland
	25日	26日	27日	28日	29日	30日
合計金額						



【図18】

400

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
6月18日	19日	20日 JL0666 Los Angeles	21日 302	22日	23日 Los Angeles	24日 Orland
300		25日 26日 27日 JL5617 →JL5001 Tokyo	28日 302	29日	30日	7月 1日
合計金額						

200

JAL

【図19】

400

JAL	ANA	HILTON	Sheraton
-----	-----	--------	----------

300

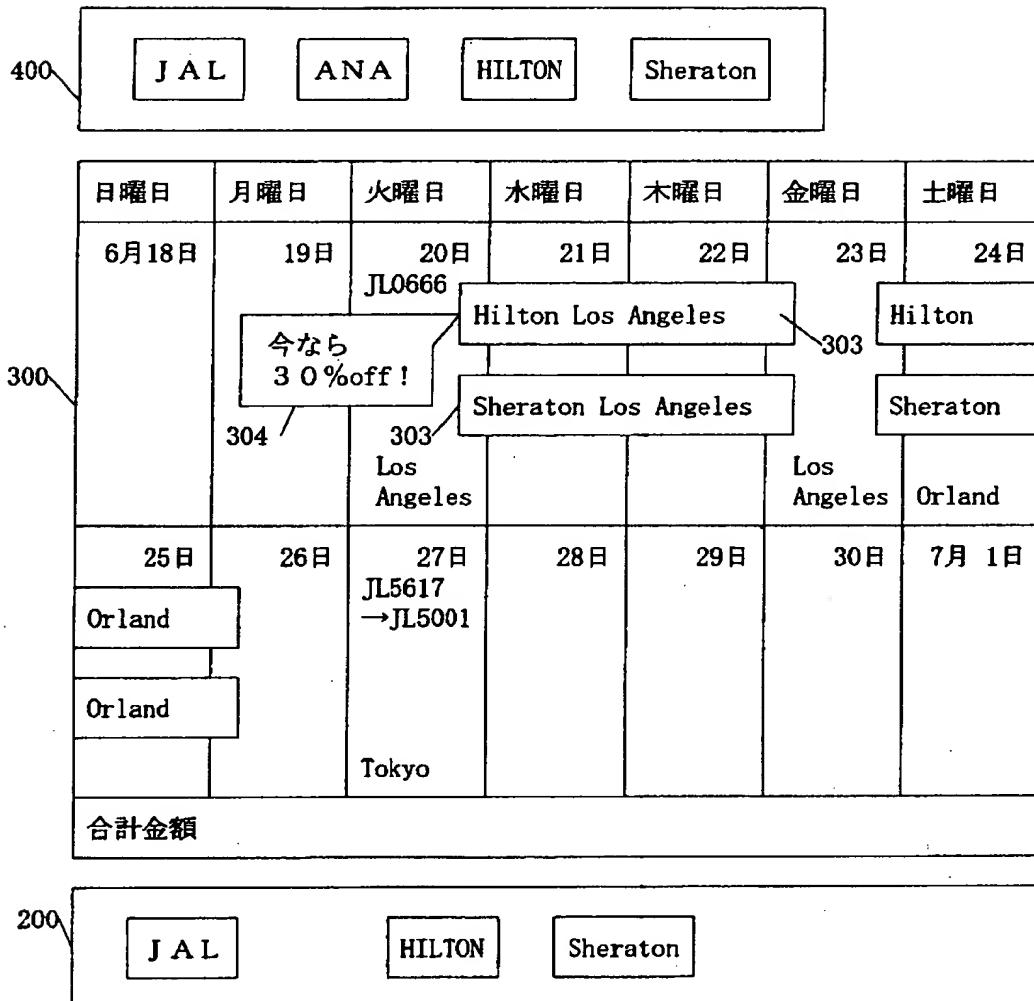
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
6月18日	19日	20日 JL0666 Los Angeles	21日	22日	23日 Los Angeles	24日 Orland
25日	26日	27日 JL5617 →JL5001 Tokyo	28日	29日	30日	7月 1日
合計金額						

200

JAL	HILTON	Sheraton
-----	--------	----------

402 403

【圖 20】



【図21】

400

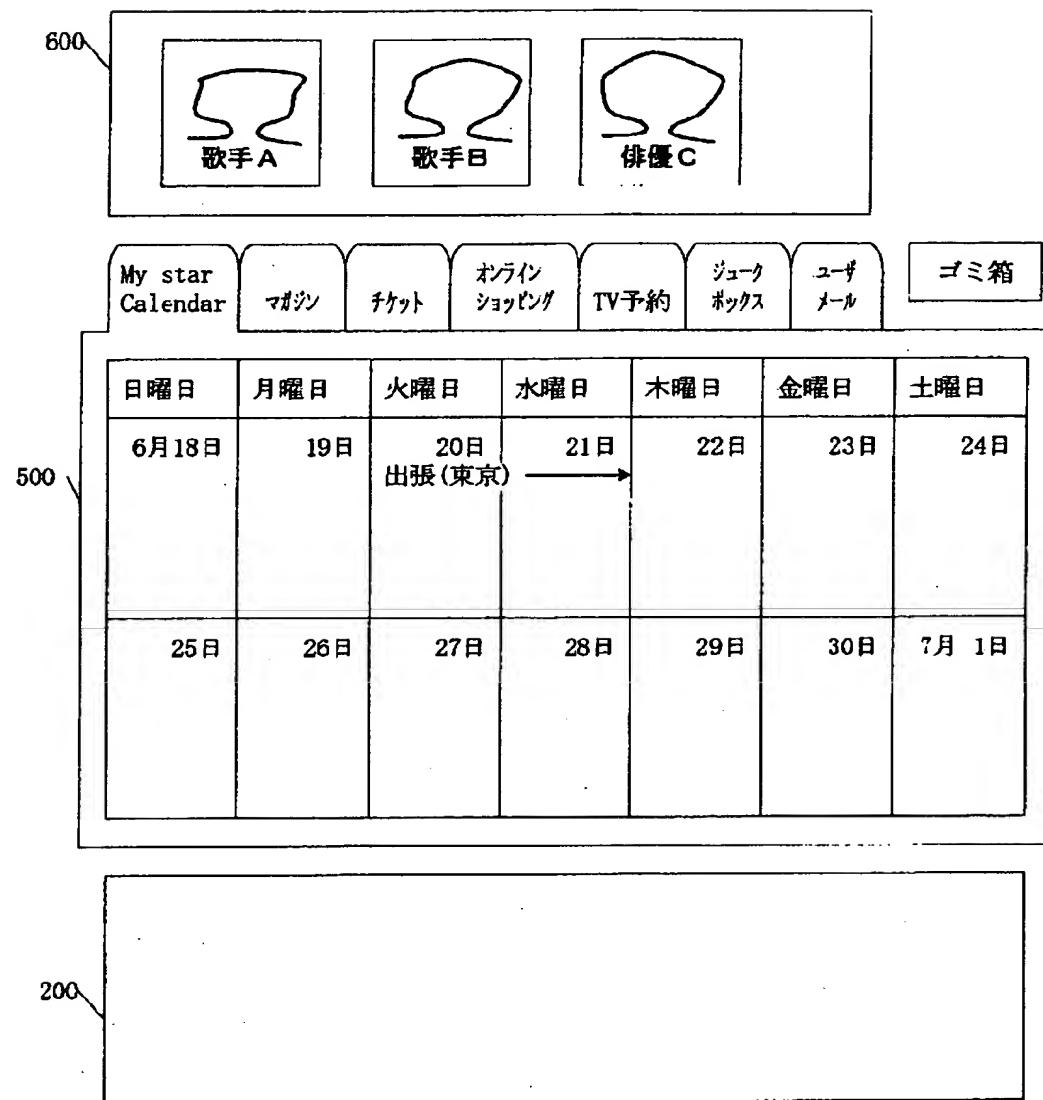
JAL	ANA	HILTON	Sheraton
-----	-----	--------	----------

300

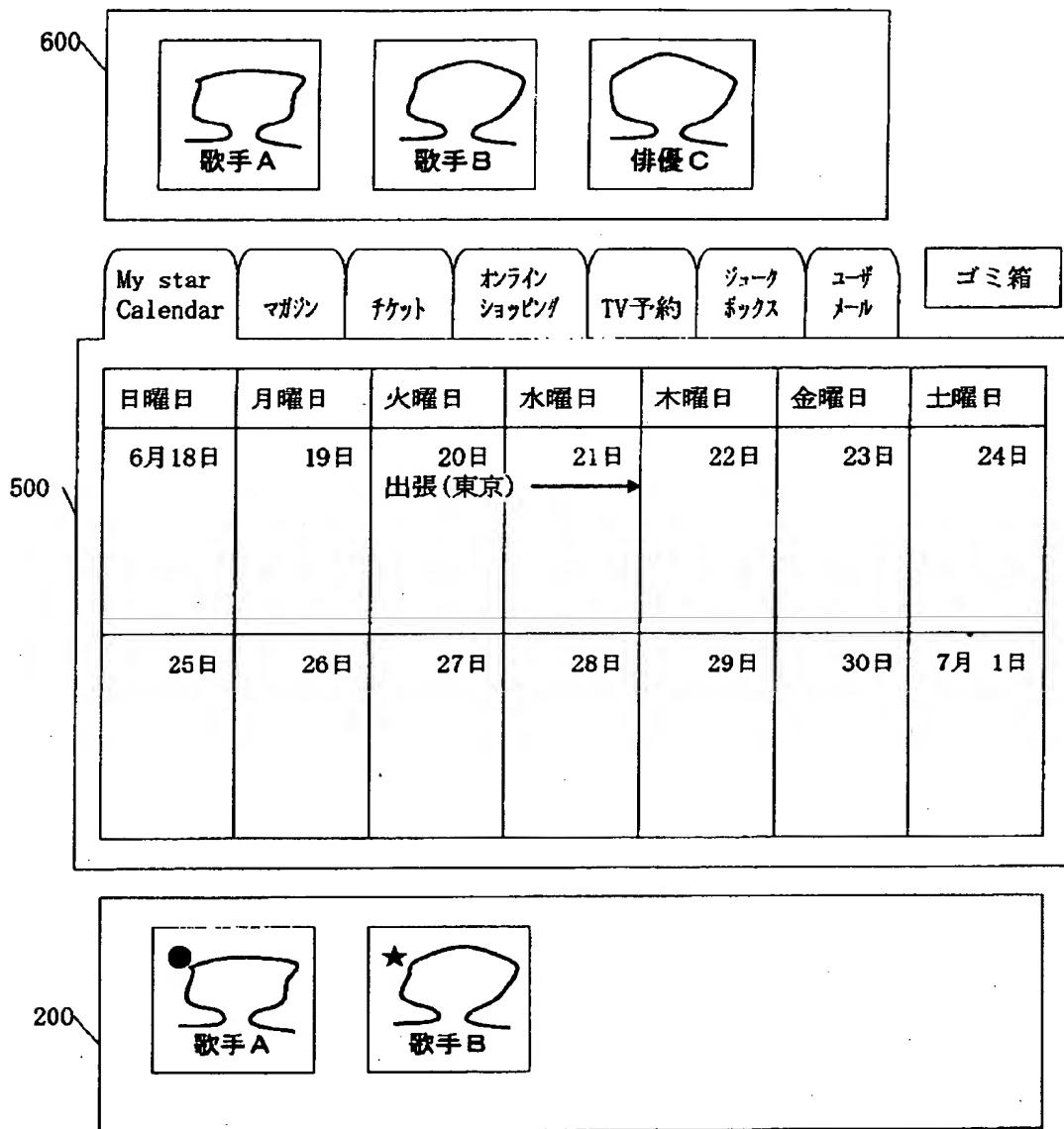
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
6月18日	19日 305	20日 305	21日	22日	23日	24日
			Hilton Los Angeles		Hilton	
			Sheraton Los Angeles		Sheraton	
		Los Angeles			Los Angeles	Orland
25日	26日 305	27日 305	28日	29日	30日	7月 1日
Orland		Tokyo				
Orland						
合計金額 328,000円—311						
決定—311						

200

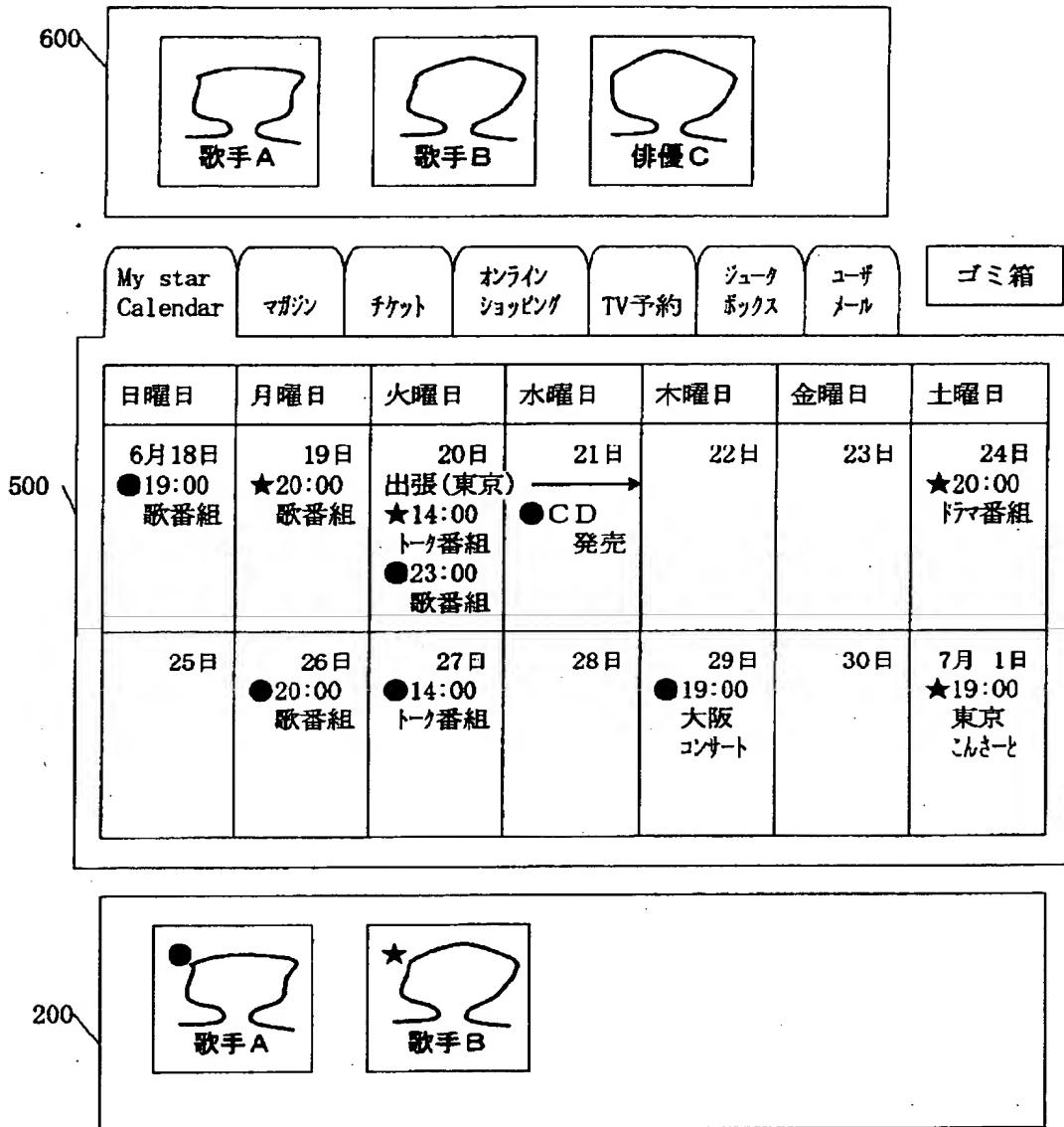
【図22】



【図23】

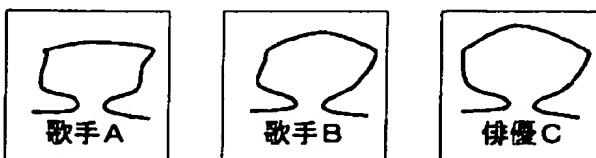


【図24】



【図25】

600

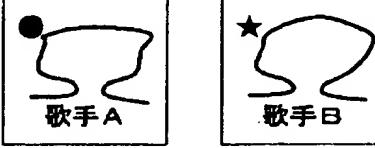


My star Calendar	マガジン	チケット	オンライン ショッピング	TV予約	ジュク ボックス	ユーザ メール	ゴミ箱
---------------------	------	------	-----------------	------	-------------	------------	-----

500

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
6月18日 ●19:00 歌番組	19日 ★20:00 歌番組	20日 出張(東京) ★14:00 トーク番組 ●23:00 歌番組	21日 ●CD 発売	22日	23日	24日 ★20:00 ドラマ番組
25日	26日 ●20:00 歌番組	27日 ●14:00 トーク番組	28日 ★CD 発売	29日 ●19:00 大阪 コンサート	30日	7月 1日 ★19:00 東京 コンサート

200

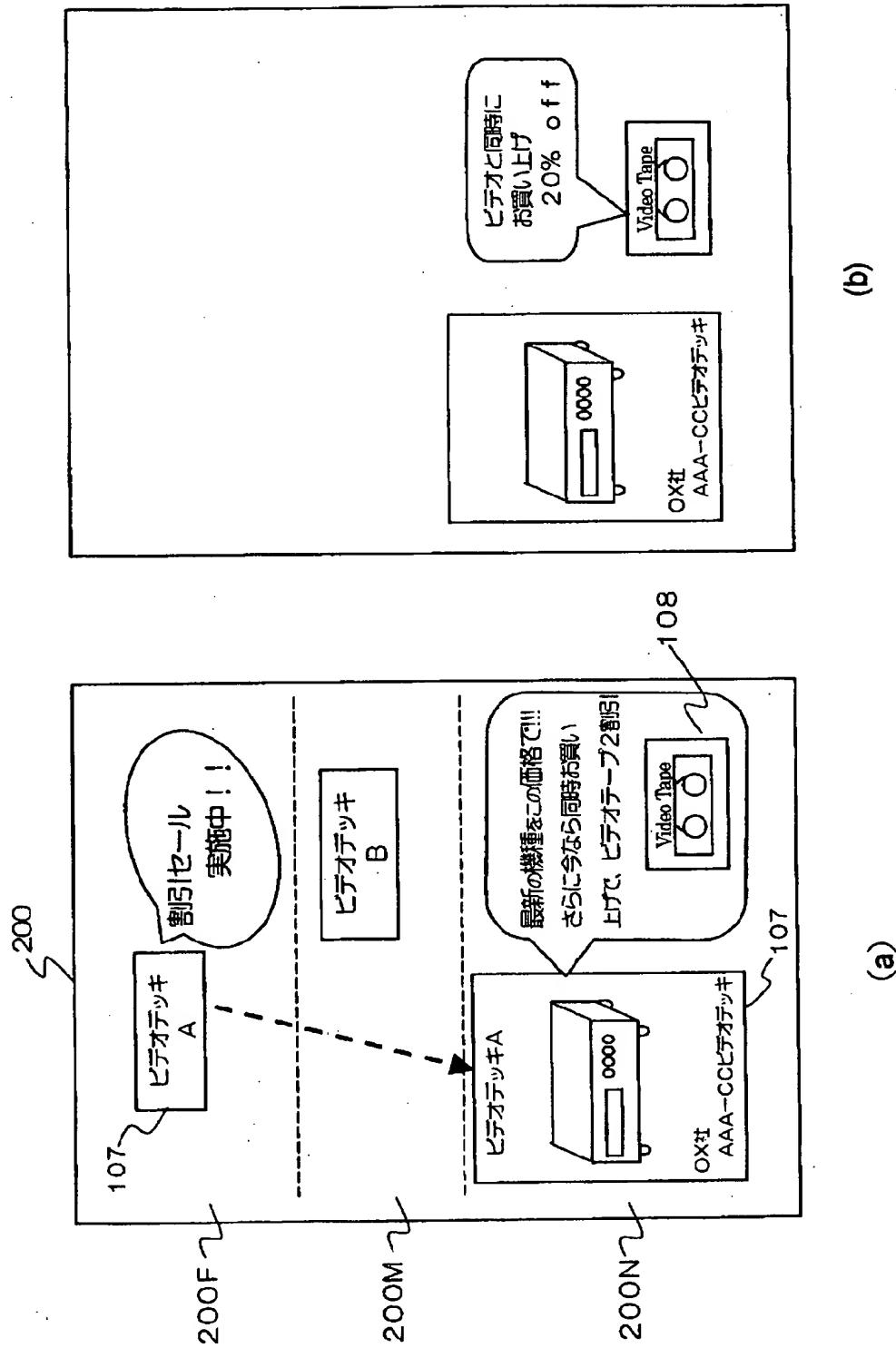


6月19日 20:00 歌番組
 6月20日 14:00 トーク番組
 6月24日 20:00 ドラマ番組
 6月28日 CD発売
 7月 1日 19:00 東京コンサート

▲
▼

【図26】

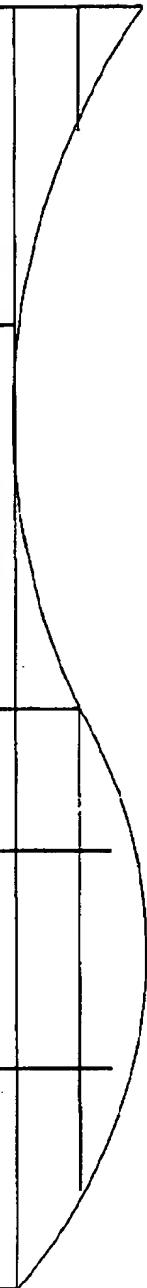
広告希望領域の表示例を示す図



【図27】

コンテンツDBの内容の例を示す図

コンテンツID	アイコンID	アイコン位置	コンテンツURL	配信タイミング
V20001005-01	icon-vd01-100-v1	NEAR	file:///c/V20001005-01-01.dat	コンテンツが更新されたら
		MIDDLE	file:///c/V20001005-01-02.dat	コンテンツが更新されたら
		FAR	file:///c/V20001005-01-03.dat	コンテンツが更新されたら



ファイル名:V20001005-01-01.dat

“最新の機種をこの価格で！！”
 “さらに、今なら同時お買い上げで、ビデオテープ2割引！”



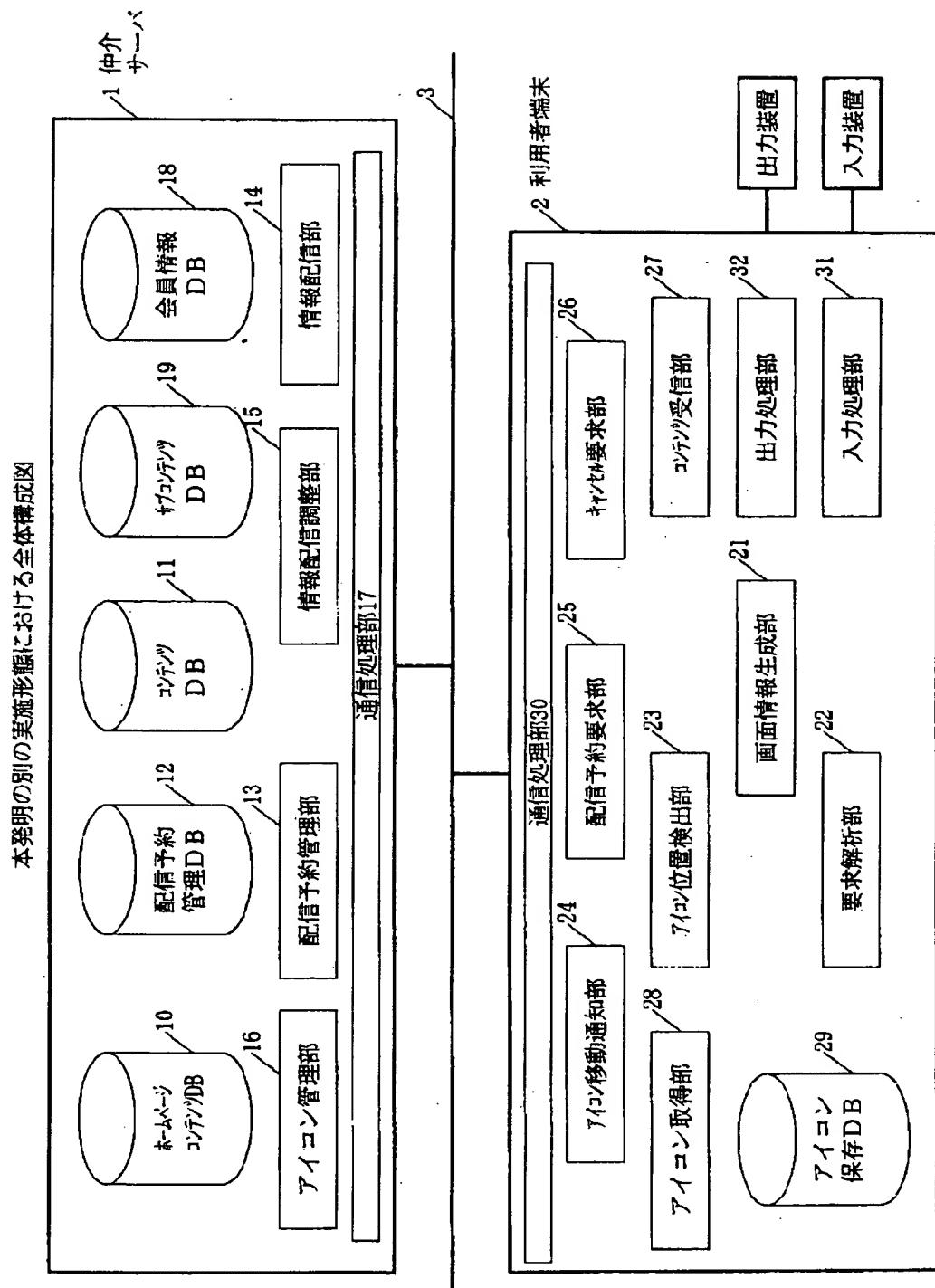
ファイル名:V20001005-01-02.dat

“最新の機種をこの価格で！！”

ファイル名:V20001005-01-03.dat

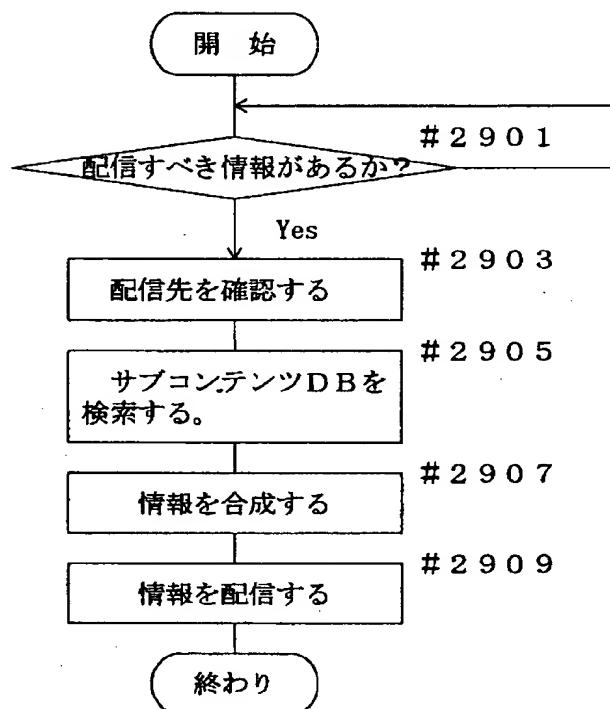
“割引セール実施中！”

【図28】



【図29】

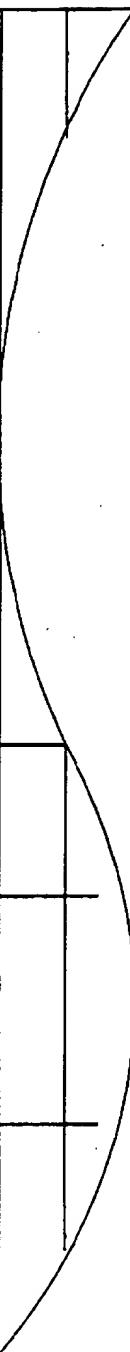
情報配信部の別の処理の流れを示す図



【図30】

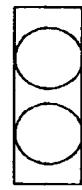
サブコンテンツDBの内容の例を示す図

コンテンツID	アイコンID	アイコン位置	追加表示アイコンID	追加表示コンテンツ
V20001005-01-S1	icon-vd01-100-v1	NEAR MIDDLE FAR	icon-tp01-200-v2	file:///c/V20001005-01-S1-01.dat



ファイル名:V20001005-01-S1-01.dat

"さらに、今なら同時お買い上げで、ビデオテープ2割引!"



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 近年、ネットワークを介してのサービスや情報の提供が広く普及している。しかし、それらのサービスを利用したり、情報の提供を依頼する場合、それぞれのサービス提供元や情報提供元に対して煩雑な申し込み手続きを行わなければならず利用者の負担となっていた。

【解決手段】 本発明は、利用者端末上にサービス提供元あるいは情報提供元を代表する表象を表示すると共に、サービスの利用や情報の提供を申し込むための所定の領域を表示し、表象が所定の領域に移動されたことを検知して、サービス提供元や情報配信元に対して、サービスに利用や情報配信の申し込みや配信情報の量や内容の調整を行うことを可能とするものである。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社